

オペレーションガイド





M-1049 Rev 1.7.3



Copyright(C) KEISOKU GIKEN Co., Ltd. All rights reserved. 本マニュアルがエンドユーザ使用語特容約を含むソフトウェアと共 に提供される場合、本マニュアルおよびその中に記載されているソフトウェアは、エンドユーザ使用語特容約にもとづいて提供 されるものであり、当該エンドユーザ使用語特容約の契約条件に従ってのみ使用または複製することが可能となるものです。当 該エンドユーザ使用語特容約により許可されている場合を除き、本マニュアルのいかなる部分といえども、KEISOKU GIKEN Co., Ltd. (株式会社 計測技術研究所)の書面による事前の許可なしに、電子的、機械的、録音、その他いかなる形式・手段であれ、 複製、検索システムへの保存、または伝送を行なうことはできません。本マニュアルの内容は、エンドユーザ使用語特容約を含 むソフトウェアと共に提供されていない場合であっても、著作権法により保護されていることにご留意ください。本マニュアル に記載される内容は、あくまでも参照用としてのみ使用されること、また、なんら予告なしに変更されることを条件として、提 供されるものであり、従って、当該情報が、計測技術研究所社の責務として解釈されることかあってはなりません。計測技術研 究所社は、本マニュアルにおけるいかなる誤謬または不正確な記述に対しても、なんら責任または補償を負うものではありませ ん。本マニュアルと実状で相違がある場合には、実状を優先するものとし、本マニュアルの記載によって機能、または性能を保 証するものではないものとします。例として使用されている設定は実在の設定とは一切関係ありません。



はじめに

弊社の製品を安全にお使いいただくために、ご使用になる前に必ず本書を最後までお読みください。 また、安全上の注意事項 は必ずお守りの上、正しくご使用ください。お読みになった後は、本書をいつでも見られるところに保管してください。

安全のための注意事項

弊社の製品は安全に十分配慮して設計してありますが、電気製品である以上、間違った使い方をすると火災や感電などにより死 亡や大けかなど、人身事故につながることがあり危険です。 本書に記載の注意事項を守り、正しい使用法でご使用ください。 故障したら使用を中止する

故障したと思ったら、無理に使用することは避け、弊社のサービス担当者、または営業担当者にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

発煙・異臭・異音が発生した場合

⇒すぐに電源を切り、電源コードを電源から抜いてください。また接続されているコード類を全てはずし、弊社営業部までご連絡ください。

発火した場合

⇒すぐに電源を切り、電源コードを電源から抜くか、ブレーカーを落とし、すぐに消火してください。

本装置の保証について

本装置には「保証書」が添付されています。「保証書」には修理サービス及び保証規定に関する情報が記載されておりますので、 記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保障期間内に万一故障した場合、保証規定に基づいて修理いたします。

問い合わせ先

MV 事業部 映像機器セールス・サポート TEL: 045-948-0215 VWsales@hq.keisoku.co.jp

電源コードについて

警告! 本製品に添付の電源ケーブルは本製品専用となっています。 他の機器には使用しないでください。

高調波規制への適合について

本製品は業務用機器のため、高調波電流時制の対象外製品です。 高調波電流時間には対応していません。



目 次

1	使用上の注意	8
	1.1 警告表示の意味	8
	1.2 使用法に関する注意事項	9
	1.3 電源に関する注意事項	10
	1.4 設置・運搬に関する注意事項	11
	1.5 清掃に関する注意事項	13
	1.6 液晶画面に関する注意事項	13
	1.7 タッチスクリーンに関する注意事項	13
	1.8 SDI 入出力に関する注意事項	14
	1.9 シンボルマークに関する注意事項	14
~	生いの物語	45
2		15
	2.1 行钗	15
3	各部の名称と動き	16
	3.1 前面	16
	3.1.1 前面―各部の名称と機能	16
	3.1.2 ビデオ操作スイッチについて	17
	3.2 ビデオメディア・スロット	18
	3.3 背面	19
	3.3.1 背面―各部の名称と機能	19
	3.4 各コネクタのピン仕様	20
	1 AC インレット	20
	2 SDI IN 入力コネクタ	20
	3 SDI OUT 出力コネクタ	20
	4 REMOTE IN/OUT コネクタ	21
	5 モニター出力コネクタ	21
	6 SYNC 出力コネクタ	22
	7 LTC IN 入力コネクタ	22
	8 LTC OUT 出力コネクタ	22
	9 REF IN 入力コネクタ	22
	10 REF OUT 出力コネクタ	22
	11 HDMI 出力コネクタ	23
	12 GPIO コネクタ	23
	13 LAN コネクタ	24
	14 USB コネクタ	24
	15 AUDIO コネクタ	25
	16 10Gb Ether ネットワーク(オプション)	25
	17 PHONE コネクタ(※前面-8)	26
	18 USB コネクタ(※前面-9)	26
⊿	淮備	27
7	11 雲酒の進備	21 27
	411 電源の接続	27
	412 雷源をオン/オフする	27
	112 電源になりパラックの1000000000000000000000000000000000000	28
	421 記録時の接続	20
	422 再生時の接続	32
	- ユニニー ロー・ション・ファット・ション・ファット	
	〒3 ビノスハノゴノ	



4.3.1 録画/再生可能なビデオメディア	
4.4 UDR-N50A/N60 タッチパネルの校正手順について	
4.4.1 概要	
4.4.2 校正手順	
5 メニュー設定	
5.1 メニュー画面の例	
52 ホーハ画面	43
5.3 アラート解除画面	
5.4 メニューの表示	
5.4.1 FOLDER メニュー	
5.4.2 VIDEO メニュー	
5.4.3 TIMECODE メニュー	
5.4.4 AUDIO メニュー	
5.4.5 SETUP メニュー	74
5.4.6 SYSTEM メニュー	
5.4.7 PLAYBACK メニュー	
	112
0回知理報 (カノンヨノ)	
0.1 マスター (成こスレーク)(成こう) 「こ	113
0.2 必要な限点。 6.3 必要が設定	
631 パネルから操作する場合	
6.3.2.11 DR から握作する場合	
64 操作方法	115
6.4.1 ホスト名の確認	
6.4.2 ビデオモジュール名 (COM1 と COM15)	
6.4.3 マスター機の設定	
6.4.4 スレーブ機の設定	
6.4.5 同期運転のフォルダ構成	
6.4.6 画像のロード	
6.4.7 映像の再生	
7 SDI 設定	125
71 設定	
7.7 設定	120
8 HDMI 設定	
8.2 4K2K 出力か可能なビナオタイミンク	131
9 記録/再生	132
9.1 記録のための準備と記録操作	132
9.1.1 フォルダの作成	
9.1.2 記録するフォルダの決定	
9.1.3 ビデオフォーマットの設定	
9.1.4 記録する	137
9.2 再生のための準備と再生操作	138
9.2.1 フォルダの選択	
9.2.2 ビデオフォーマットの設定	139
9.2.3 再生する	140
9.3 テイクモード	141
9.3.1	141



9.3.2 収録・再生	
9.3.3 テイクの削除	
9.4 ループ再生	145
9.4.1 モード指定	
9.4.2 In/Out 点	
9.4.3 UDR フォルダ	
9.4.4 In/Out 点再生	
9.4.5 In/Out 点ループ再生	
9.4.6 In/Out 点と UDR フォルダ番号保存	
9.4.7 autoexec ファイル作成	
9.4.8 autoexec ファイル削除	
9.4.9 カスタム autoexec ファイル上書き	
9.5 スクリプト再生	
9.5.1 モード指定	
9.5.2 スクリプト実行	
9.5.3 スクリプトファイルの作成	
9.5.4 スクリプトファイル格納場所	
9.5.5 USB メモリと UDR-N50A/N60 間のスクリプトファイル複写	
9.5.6 autoexec ファイル生成	
9.5.7 ファイル削除	
9.5.8 USB メモリスクリプト格納場所の作成	
9.5.9 スクリプトファイル構造と内容	
9.5.10 スクリプト例1 (ループ再生)	
9.5.11 スクリプト例2 (複数 UDR フォルダ再生とその繰り返し)	
9.5.12 スクリプト例3 (GPIO 入力待ち再生とその繰り返し)	
9.5.13 繰り返しスクリプト実行検出	
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項	
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について	
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要	168
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起	168
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起 10.1.3 対策	168
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起 10.1.3 対策	168 168 168 168 168 168 168 168
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起 10.1.3 対策 11 参考資料	
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起 10.1.3 対策 11 参考資料	168 168 168 168 168 168 168 168 170 170
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起 10.1.3 対策 11 参考資料 11.1 入出力チャンネルマッピング 11.1.1 映像チャンネル割り当て 11.1 2 EDU端でまりの米て	168 168 168 168 168 168 168 168 170 170 170
 10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項	168 168 168 168 168 168 168 168 170 170 170 171
 10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項	168 168 168 168 168 168 168 168 170 170 170 171 172
 10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項	168 168 168 168 168 168 168 168 170 170 170 171 172 172 172
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起 10.1.3 対策 11 参考資料 11.1 入出力チャンネルマッピング 11.1.1 映像チャンネル割り当て 11.1.2 SDI 端子割り当て 11.2 W語 11.2 機能 11.2 機能 11.2 認定と提供	168 168 168 168 168 168 168 168 170 170 170 171 172 172 172 172
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起 10.1.3 対策 11 参考資料 11.1 入出力チャンネルマッピング 11.1.1 映像チャンネル目り当て 11.1.2 SDI 端子割り当て 11.2 UDR-N50/N60 設定 11.2.1 概要 11.2.2 機能 11.2.3 設定と操作 11.3 UDR-N50/N60 設定	168 168 168 168 168 168 168 168 170 170 170 170 170 172 172 172 172 172
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起 10.1.3 対策 11 参考資料 11.1 入出力チャンネルマッピング 11.1.1 映像チャンネル割り当て 11.2 SDI 端子割り当て 11.2 UDR-N50/N60 設定 11.2.1 概要 11.2.3 設定と操作 11.3 UDR-N50/N60 設定 11.3 UDR-N50/N60 設定 11.3 UDR-N50/N60 設定	168 168 168 168 168 168 168 168 170 170 170 170 171 172 172 172 172 172 172
 10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項	168 168 168 168 168 168 168 168 170 170 170 171 172 172 172 172 174 174
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起 10.1.3 対策 11 参考資料 11.1 入出力チャンネルマッピング 11.1.1 映像チャンネル割り当て 11.1.2 SDI 端子割り当て 11.2 UDR-N50/N60 設定 11.2.1 概要 11.2.2 機能 11.3 UDR-N50/N60 設定 11.3 UDR-N50/N60 設定 11.3 UDR-N50/N60 設定 11.3.1 101~199 TimeCode 11.3.2 201~299 VideoOutput 11.3.3 201~399 VideoOutput	168 168 168 168 168 168 170 170 170 170 171 172 172 172 172 172 174 175 177
 10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項	168 168 168 168 168 168 170 170 170 171 172 172 172 172 172 172 174 175 177 181
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起 10.1.3 対策 11 参考資料 11.1 入出力チャンネルマッピング 11.1.1 映像チャンネル息り当て 11.2 SDI 端子割り当て 11.2 観能 11.2 機能 11.2 機能 11.3 辺DR-N50/N60 設定 11.3 UDR-N50/N60 設定 11.3.1 101~199 TimeCode 11.3.2 201~299 VideoInput 11.3.3 301~399 VideoOutput 11.3.4 401~499 Audio 11.3.5 501~599 System Protection	168 168 168 168 168 168 170 170 170 170 170 171 172 172 172 172 172 174 175 177 181 192
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起 10.1.3 対策 11 参考資料 11.1 入出力チャンネルマッピング 11.1.1 映像チャンネル割り当て 11.2 SDI 端子割り当て 11.2 UDR-N50/N60 設定 11.2.1 概要 11.2.2 機能 11.2.3 設定と操作 11.3 UDR-N50/N60 設定一覧 11.3 UDR-N50/N60 設定一覧 11.3.1 101~199 TimeCode 11.3.2 201~299 VideoInput 11.3.3 301~399 VideoOutput 11.3.4 401~499 Audio 11.3.5 501~599 System Protection 11.3 6601~699 Remote //E	168 168 168 168 168 168 168 170 170 170 170 171 172 172 172 172 172 172 172 172 172 172 172 174 175 177 181 183 194
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項	168 168 168 168 168 168 168 168 170 170 170 170 170 170 171 172 172 172 172 172 172 174 175 177 181 183 184 195
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項 10.1 DualLink で収録する場合について 10.1.1 概要 10.1.2 注意喚起 10.1.3 対策 11 参考資料 11.1 入出力チャンネルマッピング 11.1.1 映像チャンネル割り当て 11.1.2 SDI 端子割り当て 11.2 UDR-N50/N60 設定 11.2.1 概要 11.2.2 機能 11.2.3 設定と操作 11.3 UDR-N50/N60 設定 11.3.1 101~199 TimeCode 11.3.2 201~299 VideoInput 11.3.3 301~399 VideoOutput 11.3.5 501~599 System Protection 11.3.6 601~699 Remote I/F 11.3.7 701~799 External Ports 11.3.8 801~809 Others	168 168 168 168 168 168 168 170 170 170 170 170 171 172 172 172 172 172 172 172 172 172 172 172 172 174 175 177 181 183 184 185 197
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項	168 168 168 168 168 168 168 168 170 170 170 170 171 172 172 172 172 172 172 174 175 177 181 183 184 185 187 187
10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項	168 168 168 168 168 168 168 168 170 170 170 170 170 170 171 172 172 172 172 172 172 172 172 172 174 175 177 181 183 184 185 187 188 189



12	. 更新履歴	194
	11.5 エラー番号一覧	193
	11.4 ヒューズ交換について	.192



1 使用上の注意

本書は、安全にお使いいただくために次の記号で警告及び注意表示を行っています。下記の表示と内容をよく読んでご理解の上ご使用ください。

1.1 警告表示の意味

A	警告
	この内容を無視して誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容 を示します。
A	注意
	この内容を無視して誤った取扱いをすると人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
^	火災の危険あり
	注意事項を守らない場合、火災を起こす危険性を持った内容であることを示しています。
A	感電注意
4	この内容を無視して誤った取扱いをすると感電する恐れがあることを示しています。
	分解禁止
	感電・故障の原因となるために、分解を禁止する内容を示しています。
	行為の指定
	安全のために行為を指定する内容であることを示しています。
\frown	行為の禁止
\bigcirc	感電・故障・けがの原因となるために、行為を禁止する内容であることを示しています。
	海抜2000mを超えない地域でのみ可能
2000m	

1.2 使用法に関する注意事項



KEISOKU GIKEN



1.3 電源に関する注意事項





□電源コードを改造したり、傷つける
 □電源コードの上に重いものを乗せる
 □無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりする
 □熱器具の近くに配線したり、加熱したりする
 □濡れた手で電源コードを取り扱う
 □破損している電源コードを使用する



1.4 設置・運搬に関する注意事項

	故障の原因となる環境に設置しない
\bigcirc	本製品は精密な電子部品で作られています。 次のような場所に設置や保管をすると、動作不良 や故障の原因となりますので必ず避けてください。 ロ ホコリやチリの多い場所 ロ 火気のある場所 ロ 水に濡れやすい場所 ロ 挿発性物質のある場所 ロ 冷暖房器具に近い場所
	動作不良や故障の原因となる環境に長時間設置しない ・ ・ は射日光の当たる場所 温度・
0	安全アースを接続する 電源コードは感電を避けるために、必ずアース端子のあるコンセントに差し込んでください。 3P-2P 変換プラグを使用して2線式単相電源に接続する場合は、必ずアダプタのアース線を接地 してください。
0	安定した場所に設置する ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、製品が落下してけかや故障の原因となりま す。
	機器周辺に物を置かない ロ 水の入ったもの、花瓶などを機器の上に置かないでください。





HDDビデオメディアは精密機器ですので振動のある場所や極端に音圧がかかる場所に設置して使用しないでください。特に以下の環境での使用はできません。



振動:9.8[m/s²]以上 音圧:100[dB]以上

連続的な振動や音圧を与えた場合、ハードディスクドライブの性能的低下し、結果的に映像収録、 映像再生動作に影響を与えます。HDDビデオメディアを用いた撮影や再生の際にはこれらの環境 に十分配慮頂くようお願い申し上げます。

なお、SSD ビデオメディアでは110[dB]を超える音圧を与えても影響がない事を弊社内で確認しております。振動や音圧が過酷な環境での撮影では、SSD ビデオメディアの採用を御検討頂きますようお願い申し上げます。



1.5 清掃に関する注意事項



電源プラグを定期的にコンセントから抜いて清掃する

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元及び刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントにさしたままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付 着しショートして火災の恐れがあります。

1.6 液晶画面に関する注意事項



液晶画面に物をぶつけない

液晶画面に硬い物をぶつけると、液晶画面が割れることがあります。

1.7 タッチスクリーンに関する注意事項



タッチスクリーンには市販のタッチペンを使う

タッチスクリーンの操作には、市販のタッチペンを使ってください。金属製のボールペンなど硬いもので操作するとキズの原因になります。



1.8 SDI 入出力に関する注意事項



装置間のフレームグランドを取って下さい

接続機器は同じ接地を取っている電源から3Pで接続するようにして下さい。 仮に、3P接続か難しい環境の場合BNCのケースGNDを、接続する両方の装置間のGNDでコ ンタクトより先に確実に接触させて下さい



電源を重畳する機材とは接続しないで下さい

電源を重畳するリピータなどは DC+12[V]~DC+48[V]を同軸ケーブルに重畳して伝送します SDI 入出力カコネクタに 6[V]以上の電源が重畳された場合、破損する可能性があります

静電気やサージには注意して接続して下さい



過度な静電気が発生する環境で直接 SDI 入出力 BNC 中心コンタクトに触れることはしないで下さい。

SDI 入出力 BNC の中心コンタクトはフレーム GND を取っている状態で±2[kV] までの接触放 電の耐圧を持ちます。空気が乾燥している状態での人体の帯電は 10[kV]を超えることがあるため、中心コンタクトに静電気放電した場合放電した電圧が内部の IC にかかり破損することがあり ます

低温時の制限。



低温時の使用では、SDI 信号のベース周波数が SMPTE 規格(±10ppm)から若干外れる可能性があります。常温(25℃) での保証

1.9 シンボルマークに関する注意事項





2 製品概要

UDR-N50A/N60 は HD-SDI 信号を非圧縮で記録できるディスクレコーダです。UDR-N50A/N60 1 台で 4K×2K の高精融映像を記録・再生することができます。 像を記録・再生することができます。また、UDR-N60 では、12G-SDI の高精融映像を記録・再生することができます。 ポータブルレコーダ UDR-D100 とメディアの互換性があるため、撮影から編集まで柔軟に対応できます。 またネットワークインターフェースを持ち、制御ソフトウェアを使ってコンピュータから便利に制御を行ったり、容易にデ ータのやりとりを行うことができます。

2.1 特徴

- 3G/HD-SDI4 チャネル対応
- 12G1チャネル対応(UDR-N60のみ)
- 19 インチハーフラックサイズ
- RS-422 コントロール
- 10G-bit Ethernet 対応(オプション)
- タッチパネルディスプレイ搭載
- ポータブルレコーダ UDR-D100 とメディア互換



3 各部の名称と動き

3.1 前面



3.1.1 前面一各部の名称と機能

- 電源スイッチ
 本装置の電源を入れます。
- 液晶
 ホーム画面/メニュー画面を表示します。タッチパネル式でタッチ操作ができます。
- メニュースイッチ
 ホーム画面/メニュー画面の切替を行います。
- ④ ビデオ操作スイッチ ビデオの再生・記録を行います。
- ⑤ ロックスイッチ
 ON にすると本体スイッチ・タッチパネルの操作を無効にします。
- のアナログ入力レベル
 オーディオブレークアウトボックス(オプション)のアナログ入力レベルを調節します。
- ⑦ ボリューム
 ヘッドホン出力の音量を調節します。
- ヘッドホン出力 (※ピン使用17)
 本装置の音声出力のモニタリングができます。
- USB コネクタ (※ピン使用-18)
 ファームウェアアップデートの際こUSB メモリを接続します。



3.1.2 ビデオ操作スイッチについて

スイッチ	
	巻き戻し再生 押す毎に巻き戻し速度が上がります。(-5, -20, -50, -100, -200, -500) 最高速まで達した後にさらに押すと、フォルダ(またはテイク)の先頭に移動し ます。 テイクモードのときに、テイクの先頭で押すと、前のテイクに移動します。
	停止
	再生
	早送り再生 押す毎に早送り速度が上がります。(+5, +20, +50, +100, +200, +500) 最高速まで達した後にさらに押すと、フォルダ(またはテイク)の末尾に移動し ます。 テイクモードのときに、テイクの末尾で押すと、次のテイクに移動します。
	記録スイッチを押すと、通常表示/スルー表示を切り替えます。
 	記録スイッチを押しながら、再生スイッチを押すと、記録を開始します。



3.2 ビデオメディア・スロット



① ビデオメディア・スロット

本装置の記録媒体である「ビデオメディア」を挿入するスロットです。

② ロックノブ
 ビデオメディアのロックを行うノブです。右にまわしてロックします。解除する場合は左にまわします。

ビデオメディアは奥までしっかり差し込み、ロックノブを回します。ノブがロック状態でないときは、記録・再生が行えません。

ビデオメディアはホットスワップが可能です。

記録・再生状態でないことを確認してから、ノブを解除してください。



3.3 背面



3.3.1 背面一各部の名称と機能

- AC インレット 1 AC 電源のインレットです。AC100~240Vの電源に対応しています。 2 SDI 入力コネクタ HD/3G-SDIの入力コネクタです。コネクタ内側の樹脂的が黒色です。 入力に有効な信号が接続されると横のLED が点灯します。 入力コネクタの下は、スルー出力コネクタです。 UDR-N60 では、A-CH のみ 12G-SDI に対応しています。 ③ SDI 出力コネクタ HD/3G-SDIの出力コネクタです。コネクタ内側の樹脂部分が白色です。 出力コネクタは同信号を2出力します。本装置では4系統8出力になります。 UDR-N60 では、A-CH のみ 12G-SDI に対応しています。 ④ リモート RS-422 のリモートコネクタです。 (5) モニター出力コネクタ モニター出力用の HD-SDI 出力コネクタです。4K のダウンコンバート出力が可能です。 ⑥ 同期信号出力コネクタ 3値同期信号の出力コネクタです。 ⑦ LTC 入力 LTC 入力コネクタです。 ⑧ LTC 出力 LTC 出力コネクタです。
- リファレンス入力
 外部同期信号の入力コネクタです。3値同期信号に対応しています。
 このリファレンス信号にゲンロックして出力をすることができます。
- リファレンス出力(スルー)上のリファレンス入力のスルー出力です。
- HDMI 出力
 モニター出力用の HDMI コネクタです。
- GPIO コネクタ
 GPIO コネクタです。REC スイッチや UPS 連動などに使用します。
- ネットワークコネクタ
 10/100/1000BASE-Tのネットワーク端子です。PCと接続します。



- 14 USB コネクタ
- ファームウェアアップデートの際に使用します。
- 15 オーディオコネクタ
 オーディオプレークアウトボックス(オプション)と接続します。AES/EBU 8 チャネルの入出力ができます。
- 10GbE ネットワーク(オプション) オプションの10GbE カードを装着します。

3.4 各コネクタのピン仕様

1 AC インレット

専用ケーブル使用 AC100~240V / 1.5A

2 SDI IN 入力コネクタ

形状 BNC (75Ω)



信号仕様 SMPTE ST292-1:2012,SMPTE ST424:2012 SMPTE ST 2082-1:2015 (CH-A のみ)

3 SDI OUT 出力コネクタ

形状 BNC (75Ω)



信号仕様 SMPTE ST292-1:2012,SMPTE ST424:2012 SMPTE ST 2082-1:2015 (CH-A のみ)

く注意>

SDI 入出力が電気的に破損するおそれがあります。以下の使用上の注意を守ってお使い下さい。

- 装置間のフレームグランドを取って下さい。
 接続機器は同じ接地を取っている電源から3Pで接続するようにして下さい。仮に、3P接続か難しい環境の場合 BNC のケース GND を、接続する両方の装置間の GND でコンタクトより先に確実に接触させて下さい。
- ② 電源を重畳する機材とは接続しないで下さい。 電源を重畳するリピータなどは DC+12[V]~DC+48[V]を同軸ケーブルに重畳して伝送します。SDI入出カカコネクタに 6[V]以上の電源が重畳された場合、破損する可能性があります。
- ③ 静電気やサージには注意して接続して下さい。 過度な静電気が発生する環境で直接SDI入出力BNC中心コンタクトに触れることはしないで下さい。 SDI入出力BNCの中心コンタクトはフレームGNDを取っている状態で±2[kV]までの接触対電の耐圧を持ちます。 空気が乾燥している状態での人体の帯電は10[kV]を超えることがあるため、中心コンタクトに静電気放電した場合放電 した電圧が内部のICにかかり破損することがあります。



4 REMOTE IN / OUT コネクタ

< REMOTE IN コネクタ >

UDR が SLAVE 動作時に使用します。 形状 DSUB 9ピン (使用コネクタ: 17LE13090-27 (D4AB))



適合コネクタ:17JE23090-02(D8A)

信号仕様

#	名称	方向	補足
1	GND		
2	RX—	IN	レベリレ RS-422
3	TX+	OUT	レベル RS-422
4	GND		
5	NC		
6	GND		
7	RX+	IN	レベル RS-422
8	TX—	OUT	レベル RS-422
9	GND		

< REMOTE OUT コネクタ >

信号仕様

#	名称	方向	補足
1	GND		
2	TX—	OUT	レベル RS-422
3	RX+	IN	レベル RS-422
4	GND		
5	NC		
6	GND		
7	TX+	OUT	レベル RS-422
8	RX—	IN	レベル RS-422
9	GND		

5 モニター出力コネクタ

形状 BNC (75Ω)



SMPTE-292M



6 SYNC 出力コネクタ

形状 BNC (75Ω)



信号仕様 SMPTE-240M/274M/296M/RP-211



形状 BNC (75Ω)



信号仕様 SMPTE-12M



形状 BNC (75Ω)



信号仕様 SMPTE-12M



形状 BNC (75Ω)



信号仕様 SMPTE-240M/274M/296M/RP-211

10 REF OUT 出力コネクタ

形状 BNC (75Ω)



信号仕様 SMPTE-240M/274M/296M/RP-211



11 HDMI 出力コネクタ

形状 HDMI TYPE-A



信号仕様

HDMI Specification Version 1.4b

12 GPIO コネクタ

形状 DSUB 15 ピン (使用コネクタ: 17LE13150-27(D4AB))



適合コネクタ:17JE23150-02(D8A)

信号仕様

#	名称	方向	パラメータ	機能
			設定番号	
1	GP IN <0>	IN	—	—
2	GP IN <1>	IN	—	—
3	GP IN <2>	IN	0715	REC MODE 切り替え
			0716	OFF
			0721	MODE0
			0722	MODE1
			0733	MODE2
				MODE3
4	GP IN <3>	IN	—	—
5	GP OUT <0>	OUT	0701	出力信号切り替え
				HI/LOW/HSYNC/
				PLAY_TALLY
6	GP OUT <1>	OUT	0702	出力信号切り替え
				HI/LOW/VSYNC/
				REC_TALLY
7	GP OUT <2>	OUT	0703	出力信号切り替え
				HI/LOW/FIELDSYNC
8	GP OUT <3>	OUT	—	—
9	GND			
10	GND			
11	GND			
12	+5V			0.5A MAX
13	GND			
14	GND			
15	GND			

※パラメータ No. の詳細は、 p.185 をご参照ください。



<入力> VIL 0.8V Max VIH 2.0V Min



13 LAN コネクタ

形状 RJ-45



信号仕様 10/100/1000BASE

10/100/1000BASE-T ネットワーク



形状 USB A Type



信号仕様 USB 2.0





15 AUDIO コネクタ

形状 DSUB 25 ピン (使用コネクタ: 17LE13250-27(D4AB))



適合コネクタ:17JE23250-02(D8A)

信号仕様

#	名称	方向	補足
1	AES/EBU_TX<0>	OUT	デジタルオーディオ出力 ch 0
2	GND		BNC 75Ω 不平行
3	AES/EBU_TX<1>	OUT	デジタルオーディオ出力 ch 1
4	GND		BNC 75Ω 不平行
5	AES/EBU_TX<2>	OUT	デジタルオーディオ出力 ch 2
6	GND		BNC 75Ω 不平行
7	AES/EBU_TX<3>	OUT	デジタルオーディオ出力 ch 3
8	GND		BNC 75Ω 不平行
9			
10			
11			
12			
13	+12V		
14	AES/EBU_RX<0>	IN	デジタルオーディオ入力 ch 0
15	GND		BNC 75Ω 不平行
16	AES/EBU_RX<1>	IN	デジタルオーディオ入力 ch 1
17	GND		BNC 75Ω 不平行
18	AES/EBU_RX<2>	IN	デジタルオーディオ入力 ch 2
19	GND		BNC 75Ω 不平行
20	AES/EBU_RX<3>	IN	デジタルオーディオ入力 ch 3
21	GND		BNC 75Ω 不平行
22			
23			
24			
25			

16 10Gb Ether ネットワーク(オプション)

形状 RJ-45



信号仕様 10Gb Ether



17 PHONE コネクタ(※前面-8)

形状 mini Jack

 \bigcirc

18 USB コネクタ(※前面-9)

形状 USB A Type

10	1	2	4	2
P	H	. L.		7
	~	~		~ 1
Ĩ.ĸ	354	<i>v</i> .	N.,	51
y	-		1	R

信号仕様 USB 2.0



4 準備

4.1 電源の準備

4.1.1 電源の接続



AC インレットに AC ケーブルを接続し ます。

4.1.2 電源をオン/オフする

電源のオン/オフはフロントパネルのスイッチをご利用下さい。 特別なシャットダウン処理などは必要ありません。電源スイッチをオフにするだけでシステムを停止させることが出来ます。





4.2 信号の接続

UDR-N50A/N60と映象源・表示装置はBNC ケーブルで接続します。

4.2.1 記録時の接続

HD-SDI/3G-SDI シングルリンクの場合

HD-SDI/3G-SDI シングルリンクの場合、SDI IN A を使用します。



映像源	UDR-N50A/N60
SDI-OUT	SDI-IN A

信号	ビデオフォーマット
HD-SDI	1280x720 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2
	1920x1080 50/59.94/60i 8/10bit 4:2:2
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2
3G-SDI	1280x720 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2 x2 (Level B-DS)
	1920x1080 50/59.94/60i 8/10bit 4:2:2 x2 (Level B-DS)
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2 x2 (Level B-DS)
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2 x2 (Level B-DS)
	1920x1080 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2
	1920x1080 50/59.94/60i 12bit 4:2:2
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 12bit 4:2:2
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 12bit 4:2:2
	1920x1080 50/59.94/60i 8/10/12bit 4:4:4
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4
	C500 4K RAW 23.98/24/25/29.97p
	C500 4K HRAW 50/59.94p
	C500 4K1K RAW 50/59.94p



12G-SDI シングルリンクの場合(UDR-N60)

12G-SDI シングルリンクの場合、SDI IN A を使用します。



映像源	UDR-N60
SDI-OUT	SDI-IN A

対応フォーマット

信号	ビデオフォーマット
12G-SDI	3840x2160 50/59.94/60p 10bit 4:2:2



警告

12G-SDI使用時は、12G-SDI対応のBNCケーブルをご使用ください。

4-1



HD-SDI/3G-SDI デュアルリンクの場合

HD-SDI/3G-SDI デュアルリンクの場合、SDI IN A と SDI IN B を使用します。



映像源	UDR-N50A/N60
SDI-OUT (Link-A)	SDI-IN A
SDI-OUT (Link-B)	SDI-IN B

信号	ビデオフォーマット
HD-SDI	1280x720 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2 x2
	1920x1080 50/59.94/60i 8/10bit 4:2:2 x2
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2 x2
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2 x2
	1920x1080 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2
	1920x1080 50/59.94/60i 12bit 4:2:2
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 12bit 4:2:2
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 12bit 4:2:2
	1920x1080 50/59.94/60i 8/10/12bit 4:4:4
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4
3G-SDI	1920x1080 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2 x2
	1920x1080 50/59.94/60i 12bit 4:2:2 x2
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 12bit 4:2:2 x2
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 12bit 4:2:2 x2
	1920x1080 50/59.94/60i 8/10/12bit 4:4:4 x2
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4 x2
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4 x2
	3840x2160 50/59.94/60i 8/10bit 4:2:2 (Level B-DS)
	3840x2160 23.98/24/25/39.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2 (Level B-DS)
	4096x2160 23.98/24/25/39.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2 (Level B-DS)
	C500 4K/RAW 50/59.94p



HD-SDI/3G-SDI クアッドリンクの場合

HD-SDI/3G-SDI クアッドリンクの場合、SDI 4 本を使用した接続ができます。



映像源	UDR-N50A/N60
SDI-OUT (Link-A)	SDI-IN A
SDI-OUT (Link-B)	SDI-IN B
SDI-OUT (Link-C)	SDI-IN C
SDI-OUT (Link-D)	SDI-IN D

信号	ビデオフォーマット
HD-SDI	3840x2160 50/59.94/60i 8/10bit 4:2:2
	3840x2160 23.98/24/25/39.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2
	4096x2160 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2
3G-SDI	3840x2160 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2
	4096x2160 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2
	3840x2160 50/59.94/60i 8/10/12bit 4:4:4
	3840x2160 23.98/24/25/39.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4
	4096x2160 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4



.....

4.2.2 再生時の接続

HD-SDI/3G-SDI シングルリンクの場合

.....

HD-SDI/3G-SDI シングルリンクの場合、SDI OUT A を使用します。



UDR-N50A/N60	
SDI-OUT A	SDI-IN A

信号	ビデオフォーマット
HD-SDI	1280x720 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2
	1920x1080 50/59.94/60i 8/10bit 4:2:2
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2
3G-SDI	1280x720 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2 x2 (Level B-DS)
	1920x1080 50/59.94/60i 8/10bit 4:2:2 x2 (Level B-DS)
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2 x2 (Level B-DS)
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2 x2 (Level B-DS)
	1920x1080 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2
	1920x1080 50/59.94/60i 12bit 4:2:2
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 12bit 4:2:2
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 12bit 4:2:2
	1920x1080 50/59.94/60i 8/10/12bit 4:4:4
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4
	C500 4K RAW 23.98/24/25/29.97p
	C500 4K HRAW 50/59.94p
	C500 4K1K RAW 50/59.94p



12G-SDI シングルリンクの場合、SDI OUT A を使用します。



UDR-N60	表示装置
SDI-OUT A	SDI-IN A

対応フォーマット

信号	ビデオフォーマット
12G-SDI	3840x2160 50/59.94/60p 10bit 4:2:2



警告

12G-SDI使用時は、12G-SDI対応のBNCケーブルをご使用ください。



HD-SDI/3G-SDI デュアルリンクの場合

HD-SDI/3G-SDI デュアルリンク接続の場合、SDI OUT A と SDI OUT B を使用します。



UDR-N50A/N60	
SDI-OUT A	SDI-IN A
SDI-OUT B	SDI-IN B

信号	ビデオフォーマット					
HD-SDI	1280x720 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2 x2					
	1920x1080 50/59.94/60i 8/10bit 4:2:2 x2					
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2 x2					
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2 x2					
	1920x1080 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2					
	1920x1080 50/59.94/60i 12bit 4:2:2					
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 12bit 4:2:2					
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 12bit 4:2:2					
	1920x1080 50/59.94/60i 8/10/12bit 4:4:4					
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4					
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4					
3G-SDI	1920x1080 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2 x2					
	1920x1080 50/59.94/60i 12bit 4:2:2 x2					
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 12bit 4:2:2 x2					
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 12bit 4:2:2 x2					
	1920x1080 50/59.94/60i 8/10/12bit 4:4:4 x2					
	1920x1080 23.98/24/25/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4 x2					
	2048x1080 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4 x2					
	3840x2160 50/59.94/60i 8/10bit 4:2:2 (Level B-DS)					
	3840x2160 23.98/24/25/39.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2 (Level B-DS)					
	4096x2160 23.98/24/25/39.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2 (Level B-DS)					
	C500 4K/RAW 50/59.94p					



HD-SDI/3G-SDI クアッドリンクの場合

HD-SDI/3G-SDI クアッドリンクの場合、SDI 4 本を使用した接続ができます。



UDR-N50A/N60	
SDI-OUT A	SDI-IN A
SDI-OUT B	SDI-IN B
SDI-OUT C	SDI-IN C
SDI-OUT D	SDI-IN D

信号	ビデオフォーマット
HD-SDI	3840x2160 50/59.94/60i 8/10bit 4:2:2
	3840x2160 23.98/24/25/39.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2
	4096x2160 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10bit 4:2:2
3G-SDI	3840x2160 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2
	4096x2160 50/59.94/60p 8/10bit 4:2:2
	3840x2160 50/59.94/60i 8/10/12bit 4:4:4
	3840x2160 23.98/24/25/39.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4
	4096x2160 23.98/24/29.97/30 p/PsF 8/10/12bit 4:4:4



4.3 ビデオメディア

4.3.1 録画/再生可能なビデオメディア

UDR-N50A/N60 では、ホットスワップ可能なビデオメディアを使用できます。 録画・再生が可能なビデオメディアは以下になります。

型名	メディア	容量	備考
UDR-N-FPKM3000-SG150	SSD	3.0TB	ビデオメディア 4K60P 用
UDR-N-FPKM6000-SG150	SSD	6.0TB	ビデオメディア 4K60P 用
UDR-N-FPKM12000-SG150	SSD	12.0TB	ビデオメディア 4K60P 用
UDR-N-FPKM24000-SG150	SSD	24.0TB	ビデオメディア 4K60P 用
UDR-N-FPKM48000-SG150	SSD	48.0TB	ビデオメディア 4K60P 用


4.4 UDR-N50A/N60 タッチパネルの校正手順について

4.4.1 概要

UDR-N50A/N60では、本体フロント部の操作から、タッチパネルの位置校正が出来ます。

4.4.2 校正手順

UDR-N50A/N60、タッチパネル校正手順は、以下の通りです。

1.「MENU」と「STOP」SWを押し続けてください。



2.電源をON してください。





6.校正ポイントの中心をタッチペンで押してください。



5.校正画面が表示されたら「MENU」「STOP」SWから手を離してください。



4.校正画面が表示されます。



3.キャリブレーション画面が表示されるまで「MENU」「STOP」SWを押し続けてください。





タッチするとゲージが伸びます。伸びきるまでタッチし続けて下さい。



7.同様にしてサンプリングポイントを全てタッチします。

8.HOMEメニューが表示されます。



5 メニュー設定

UDR-N50A/N60の表示パネルは、メニュースイッチを押すことで、「ホーム画面」と「メニュー画面」を切り替えます。





メニュー画面では、画面上のボタンをタッチすることで、操作することができます。

メニュー画面では、どの状態にあってもメニュースイッチを押すことで「ホーム画面」に戻ることができます。



5.1 メニュー画面の例



ボタンは黒枠で囲まれた部品です。ボタンをタッチすることで操作することができます。





リストは複数の項目から構成される部品です。リストの項目をタッチすることで、選択することができます。選択された項目は色が変わります。

リストスクロールボタンは、リストの項目をスクロールするために使います。 PageUp ボタンをタッチすることで、リストが1ページ上にスクロールします。 Up ボタンをタッチすることで、リストが1行上にスクロールします。 Down ボタンをタッチすることで、リストが1行下にスクロールします。 PageDown ボタンをタッチすることで、リストが1ページ下にスクロールします。



5.2 ホーム画面

Single		1080/53-940 <mark>6)</mark> SENLOCK-INTERNAL -PA <mark>7</mark>
VIDEO		
EDDIO PLAYBACK	PROPERTY AND	NPUT D KAN
FOLDER		
С С С К		

- サムネイル表示
 現在再生している(またはスルー表示している)映像を表示します。
- タイムコード表示
 現在のタイムコードを表示します。
 停止時は白色、再生時は黄色、記録中は赤色で表示します。
- ③ 再生状態 再生状態を表示します。停止時は「IDLE」、再生時は「PLAY」、スルー時は「LIVE」と表示します。
- ④ 再生速度
 再生速度を表示します。通常再生は1、早送り時は5,10,20など。
- ⑤ フレーム番号
 ⑤ フレーム番号
 - 現在再生しているフレーム番号を表示します。
- ⑥ ビデオフォーマット
 現在設定しているビデオフォーマットを表示します。
- ⑦ ゲンロック状態

現在のリファレンス信号へのロック状態を表示します。

表示	リファレンス信号
INTERNAL	内部同期
SDI-A	SDI入力
REF	3値同期信号入力

ロック状態

表示	状態
S	システムがリファレンス信号に対して完全に同期していることを表します。
Н	リファレンス信号のHSyncに同期していることを表します。
R	選択されたリファレンス信号が入力されていることを表します。
А	オーディオ出力がビデオ出力に同期していることを表します。

⑧ 入力ステータス

入力信号の状態を表示します。信号有りの場合「IN」と表示します。また、信号のビデオフォーマットが識別できた 場合はビデオフォーマット名を表示します。

⑨ フォルダ情報

現在オープンしているフォルダ名とフォルダの説明を表示します。



10 コマ送り

コマ送りボタンです。

ボタン	動作
+10	10 コマ送ります。
+1	1 コマ送ります。
-1	1 コマ戻ります。
-10	10 戻します。

① タイムコードステータス

タイムコードの設定を表示します。

 TC
 LTC
 REGEN
 NDF
 sdi-LTC
 FREERUN
 EXTLOCK

 (1)
 (2)
 (3)
 (4)
 (5)
 (6)
 (7)

(1) タイマー選択	TC/CTL
(2) TC リーダー選択	LTC/VITC
(3) TCG 設定	PRESET/REGEN
(4) TCG ドロップフレーム設定	DF / NDEF
(5) TCG ソース	int-LTC / int-VITC / ext-LTC / sdi-LTC / sdi-VITC
(6) TCG ランモード	FREERUN/RECRUN
(7) TCG ユーザービット設定	UNLOCK/EXTLOCK

12 テイク情報

現在のテイク番号、総テイク数、テイク名(あれば)を表示します。

テープセットアップ時は表示されません。

13 オーディオレベルメーター

再生中、または収録中のオーディオレベルを表示します。

14 SDIモード

入出力する SDI 信号の種類を表示します。

表示	種類
HD	HD-SDI (1.5Gbps)
3GA	3G-SDI Level-A
3GB-DL	3G-SDI Level-B (Dual Link)
3GB-DS	3G-SDI level-B (Dual Stream)
12G	12G-SDI

15 パネルコントロール状態

パネルが複数台同期重要時のマスター側制御になっているかどうかを示します。 マスター側制御になっているときは、"Multi"と表示します。 それ以外の時は"Single"と表示します。

16 ショートカットボタン

フォルダメニューやビデオメニューなどへのショートカットボタンです。

① システム状態アイコン

システムが通常状態であるのかアラート状態なのかを示します。 アイコンをタッチするとアラート解除画面に移動します。





5.3 アラート解除画面

ALERT		
	Alert infomation	
Alert		Back
ALERT OFF		
		dert reset

Backボタンをタッチするとホーム画面に戻ります。

Alert reset ボタンをタッチすると、アラート状態を解除します。

説明

アラート状態はシステムの異常を示すものです。システムの異常を検出した場合にはアラート状態がセットされます。

アラート状態は解除するまで再起動後も状態を保持し続けます。

アラート状態の解除は一時的な対応でしかありません。

システムに重要な問題が発生している可能性がありますので、ディストリビュータまで御連絡ください。その際、メンテナンス画面からシステムログを取得しておくと問題を早期に解決できることがあります。



5.4 メニューの表示

メインメニューです。

ボタンをタッチすることで、各メニューに移動します。

MENU

	MAIN MENU	
		① Back
© FOLDER	3 VIDEO	
4TIMECODE	6 AUDIO	
© SETUP	© SYSTEM	BPLAYBACK

- ① Back ボタン ホーム画面に戻ります。
- ② FOLDER ボタン
 FOLDER メニューに移動します。
- VIDEO ボタン
 VIDEO メニューに移動します。
- ④ TIMECODE ボタン
 TIMECODE メニューに移動します。
- ⑥ AUDIO ボタン AUDIO メニューに移動します。
 ⑥ SETUP ボタン
- SETUP メニューに移動します。
- ⑦ SYSTEM ボタン
 SYSTEM メニューに移動します。
- PLAYBACK ボタン
 PLAYBACK メニューに移動します。



5.4.1 FOLDER メニュー

MENU>FOLDER					
	Folder menu				
					1 Back
2	SELECT		³ CREATE		
4	RENAME				

- ① Back ボタン メインメニューに戻ります。
- SELECTボタン フォルダ選択画面に移動します。
- CREATE ボタン フォルダ作成画面に移動します。
- ④ RENAME ボタン フォルダリネーム画面に移動します。



FOLDER SELECT 画面

ビデオメディアに存在するフォルダを選択します。

リストのなかから目的のフォルダをタッチすると、フォルダオープン画面に移動します。



.....

Set ボタンをタッチすると、フォルダをオープンします。

MENU>FOLDER>SEL	.ECT>OPEN			
		Folder open		
Name : TAPE001				Back
Description : Create	d on 2012/02/17 13:01	:56		
Reel : 0	Pixels : 1920	Lines1 : 540	Lines2 : 540	
Scan mode : 2	Bit depth : 10	Data type : 0	Frame rate : 29970	
Color space : 2	Channels : 1	Frames : 18001	Time length : 00:10:00	
Format name : 1920x1080/59.94i 10bit 4:2: Format type : A1920X1080I10B				
Default ∨ideo : 1080)/59.94i			
				\frown
			(Set



5.4.2 VIDEO メニュー



- ① Back ボタン メインメニューに戻ります。
- VIDEO FORMAT ボタン ビデオフォーマット選択画面に移動します。
- INPUT ボタン ビデオ入力設定画面に移動します。
- OUTPUTボタン
 ビデオ出力設定画面に移動します。
- MONITOR ボタン
 モニター出力設定画面に移動します。
- SDI MODE ボタン
 SDI MODE 切り替え画面に移動します。



VIDEO FORMAT 画面

リストのなかから目的のビデオフォーマットを探します。

ビデオフォーマットにタッチすると、設定画面に移動します。

MENU>VIDEO>VIDEO FORMAT



.....

Set ボタンをタッチすると、ビデオフォーマットを設定します。

MENU>VIDEO>VIDEO FORMAT>SETTING	
Video format setting	
Name : 1080/59.94i	Back
Frame rate : 29970	
Clock : 74175824	
Scan mode : 2	
Links : 1	
Pixels : 1920	
Lines (1) : 540	
Lines (2) : 540	
	Set



VIDEO INPUT 画面

ビデオの入力設定を行います。

リストのなかから、設定したい項目を選び、タッチします。

MENU>VIDEO>INPUT



12 ビット入力モードの設定



OFF, ON, AUTO のなかから1 つを選択します。 Set ボタンをタッチすると、設定されます。



収録映像のフリップ設定 (A チャネル)



現在、この設定は使えません。

収録映像のフリップ設定((B	チャ	ネル)
--------------	----	----	----	---

MENU>VIDEO>	IENU>VIDEO>INPUT>IN_BCH_FLIP_PIC				
	IN_BCH_FLIP_PIC:Flip picture of Bch signal.				
	PageUp	OFF			
	Up	H_FLIP			
		V_FLIP			
	Down	H_V_FLIP			
	PageDown				
				Set	

現在、この設定は使えません。



バリカムの REC スタート設定

MENU>VIDEO>INPUT>CAMERA_REC

CAM	ERA_REC:Rec start by input UB	(varicam)	
			Back
PageUp	OFF		
Up	ON		
Down			
PageDown			
			Set

REC スタートに使用する UB 源の選択

MENU>VIDEO>	>INPUT>CAME	ERA_REC_FLAG		
	CAN	IERA_REC_FLAG:Camera rec. ۱	JB select	
				Back
	PageUp	ιтс		
	Up	VITC		
	Down			
	PageDown			
				Set



記録モード設定

MENU>VIDEO>IN	VPUT>REC_	MODE	
		REC_MODE:Rec. mode	
			Back
	PageUp	NORMAL	
	Up	VARIABLE	
	Down		
	PageDown		
			Set

記録開始・停止コマンド(SRW1 互換)の使用設定





テイク番号のソース源

MENU>VIDEO>INPUT>TAKE_NUMBER_SEL

TA	KE_NUMBER_SEL:Take number	source	
			Back
PageUp	REEL		
Up	SYSTEM		
Down			
PageDown			
			Set



VIDEO OUTPUT 画面

ビデオの出力設定を行います。

リストのなかから、設定したい項目を選び、タッチします。

MENU>VIDEO>OUTPUT



.....

12 ビット出力モードの設定





SDI 入出力の設定

MENU>VIDEO>	>OUTPUT>SD	DI_MODE		
		SDI_MODE:HD-SDI/3G-SDI/12G	S-SDI	
				Back
	PageUp	HD-SDI		
	Up	3G-A_Pri		
		3G-B_Pri		
	Down	12G-SDI		
	PageDown			
				Set
HD-SDI 3G-SDI (Level-A 3G-SDI (Level-E 12G-SDI	a priority) 3 priority)	:HD-SDI(1.5Gbps)で動作します。 :3G-SDI Level-A で動作します。 :3G-SDI Level-B で動作します。 :12G-SDI で動作します。(UDR-N60 の	J.)	

※設定を変更すると、SDI入力も同じ設定に切り替わります。

4K 分割方式の設定

MENU>VIDEO>	>OUTPUT>4K	DIVISION	
		4K_DIVISION:Select 4K division.	
			Back
	PageUp	Square	
	Up	2SampleInterleave	
	Down		
	PageDown		
			Set



FIXED COLORMETETRY の設定

MENU>VIDEO>	>OUTPUT>FI>	(ED_COLORIMETRY			
	FI	XED_COLORIMETRY	:Fixed Colorimet	ry	
				Back	
	PageUp	DISABLE			
	Up	ENABLE	_		
	Down		_		
	PageDown				
				Set	

COLORIMETRY の設定





FIXED DYNAMIC RANGE の設定

MENU>VIDEO>OUTPUT>FIXED_DYNAMIC_RANGE				
	FIXED		mic Range	
			Back	
	PageUp	DISABLE		
	Up	ENABLE		
	Down			
	PageDown			
			Set	

DYNAMIC RANGE の設定

MENU>VIDEO>	>OUTPUT>DY	NAMIC_RANGE	
	DYN	IAMIC_RANGE:Dynamic Range S	election
			Back
	PageUp	SDR-TV	
	Up	HLG	
	Down	PQ	
	PageDown		
			Set



12G-SDI リンク割り当ての設定



ペイロード ID に重畳する 12G-SDI リンク割り当てを指定します。(UDR-N60 のみ)

12G-SDI リンクモード設定



ペイロード ID の Byte 1 に重畳する 12G-SDI リンクモードを指定します。 (UDR-N60 のみ)



ゲンロックの設定

MENU>VIDEO>	MENU>VIDEO>OUTPUT>REF_SEL				
		REF_SEL:Output reference sig	gnal		
				Back	
	PageUp	AUTO			
	Up	EXT			
		INP-A			
	Down	INP-B			
	PageDown	INTERNAL			
				Set	

外部同期信号の種類

MENU>VIDEO>OUTP	PUT>EXT_REF_SEL	
	EXT_REF_SEL:Select external reference	
		Back
Pag	geUp HD	
L. L.	Jp SD	
Do	own	
Page	Down	
		Set

この画面は現在使えません。SDを選択しないでください。入力可能な外部同期信号はHDの3値同期信号だけです。



再生画像の停止時の表示方法の設定

MENU>VIDEO>OUTPUT>FREEZE_MODE



モニター出力の信号形式の設定



この画面は使えません。SDIモニター出力のデータ形式は4:2:2形式だけです。



モニター出力の形式選択

MENU>VIDEO>	>OUTPUT>MC	DN_OUTPUT_MODE			
	MON_OUTPUT_MODE:An effects of MON-OUT				
			Back		
	PageUp	NORMAL			
	Up	SIDE_BY_SIDE			
		ANAGLYPH			
	Down	AB-WIPE			
	PageDown				
			Set		

この画面は使えません。3D 撮影支援機能はサポートされていません。

モニター出力チャネルの選択

MENU>VIDEO>OUTPUT>MON_OUTPUT_CHANNEL				
ON_OUTPUT_CHANNEL:Output channel of MON-Ol				
				Back
	PageUp	CH-1		
	Up	CH-2		
	Down	CH-3		
		CH-4		
	PageDown			
				Set



HDMI 出力の形式選択



HDMI 出力のカラーレンジの選択





VIDEO MONITOR 画面

MENU>VIDEO>MONITOR CONFIG

	Video monitor configuratio	n	
			Back
PageUp	OSD		
Up	LUT		
Down			
PageDown			

この画面は使えません。3D 撮影支援機能はサポートされていません。



.....

5.4.3 TIMECODE メニュー

MENU>TIMECODE



TIMECODE CONFIG 画面

タイムコードの設定を行います。 リストの中から、設定したい項目を選び、タッチします。

.

MENU>TIMECODE>CONFIG	

		В
PageUp	Timer select	
Up	Timecode Reader	
	TCG regen mode	
Down	TCG preset DF	
PageDown	TCG source	



タイマー選択

MENU>TIMECODE>CONFIG>TIMER SEL	LECT	
	Timer select	
		Back
⊖тс		
CTL		
		Set

タイムコードリーダーの選択

MENU>TIMECODE>CONFIG>TIME	CODE READER SELECT	
	Timecode reader select	
LTC		Back
		Set



タイムコードリジェンモード設定

MENU>TIMECODE>CONFIG>TCG REGEN

Timecode rege	n mode
	Back
PRESET	
REGEN	
	Set

タイムコードのドロップフレーム設定

MENU>TIMECODE>CONFIG>TC	S DF	
	Timecode preset DF	
		Back
NDF		
A		
O DF		
		Set



タイムコードのソース選択

MENU>TIMECODE>CONFIG>TCG SOURCE

	10			216	
	Timecode source select				
					Back
•	int-LTC		🔘 sdi-LTC		
0	int-VITC		Sdi-VITC		
\bigcirc	ext-LTC				
					Set

タイムコードのランモード設定

MENU>TIMECODE>CONFIG>RUN MOD	E
1	limecode run mode
	Back
◯ FREERUN	
RECRUN	
	Set



タイムコードの UB ロック設定

MENU>TIMECODE>CONFIG>TCG UB EXT

Timecode UB	external lock Back
UNLOCK	
○ EXTLOCK	
	Set



.....

TCG PRESET 画面

タイムコードプリセット値を設定します。 「+」をタッチすると値が増加します。 「-」をタッチすると値が減少します。 「Set」をタッチすると、値か設定されます。



TCG COUNTER 画面

0.350

「Set」をタッチすると、タイムコードカウンタにプリセット値がセットされます。

MENUSTIMECODESCOUNTER								
			Back					
14	н	34	м	23	S	00	F	
								Set



5.4.4 AUDIO メニュー

AUDIOの設定をします。

MENU>AUDIO			
		Audio menu	
			Back
	MONITOR		
	SOURCE		

オーディオモニター(フォン出力)チャンネル選択




オーディオ・入力ソース選択

MENU>AUDIO>SOURCE

MENUSAUDIO.	SOURCE			
		Audi	o source select	
CH1/2	◯ AES	• ЕМВ		Back
CH3/4	◯ AES	• ЕМВ		
CH5/6	AES	○ ЕМВ		
CH7/8	AES	🔵 ЕМВ		
				Set

AES: AES/EBU デジタルオーディオ入力を選択 EMB :HD/3G-SDI エンベデッドオーディオ入力を選択



5.4.5 SETUP メニュー

MEN	U>	SE	TUF
		-	101

MENU>SETUP					
		Setup	menu		
					Back
LC	D Brightness	[PARAMET	ER	
1	Multi control				
1	Multi control				

Multi control ボタンは、「同期運転オプション」が有効のときに表示されます。



PARAMETI	ER 画面				
MENU>SETUR	P>PARAMETER				
		Parame	eter menu		
				Back	
[EDIT		RESET		

EDIT ボタンパラメータ変更のため、Parameter Category 画面に進みます。RESET ボタンパラメータの値を工場出荷設定にリセットします。



PARAMETER EDIT 画面

パラメータの編集画面です。

パラメータのカテゴリーを選びます。

MENU>SETUP>PARAMETER>CATEGORY



MENU>SETUP>PARAMETER>CATEGORY



パラメータエディット画面では、リストの中からカテゴリーを選択します。 0番台 UDR コントロール。(※現在項目がありません。) 100番台 タイムコード設定。 200番台 ビデオ入力設定。 300番台 ビデオ出力設定。 400番台 オーディオ設定。 500番台 システム保護設定。(※現在項目がありません。) 600番台 リモート設定。 700番台 外部端子設定。 800番台 その他設定。 2000番台 メンテナンス設定。



カテゴリーの次に、パラメータ項目を選びます。

MENU>SETUP>PARAMETER>CATEGORY>EDIT Parameter edit (Time Code) Back PageUp 101:TIMER_SEL Up 102:TCR_SEL Up 121:TCG_REGEN 122:TCG_DF PageDown 123:TCG_SOURCE

パラメータの項目については、別紙を参照ください。



※パラメータには、「リスト選択型」と「数値入力型」の項目があります。

リスト選択型パラメータ設定

リスト選択型のパラメータは、リストのなかからパラメータを選択して、「Set」をタッチすると、パラメータが設定されます。



数値入力型パラメータ設定

数値入力型のパラメータは、「Up」と「Down」をタッチして数値を入力します。 「Set」をタッチすると、数値が設定されます。

MENU>SETUP>PARAMETER>CATEGORY>EDIT>TCG_UB





パラメータのカテゴリーの詳細

MENU>SETUP>PARAMETER>CATEGORY>EDIT				
		Parameter edit (UDR Contro)	
				Back
	PageUp			
	Up			
	Down			
	PageDown			
MENU>SETUP>	>PARAMETER	>CATEGORY>EDIT	_	_
		Parameter edit (Time Code	2)	
				Back
	PageUp	101:TIMER_SEL		
	Up	102:TCR_SEL		
		121:TCG_REGEN		
	Down	122:TCG_DF		
	PageDown	123:TCG_SOURCE		







MENU>SETUP>PARAMETER>CATEGORY>EDIT

Parameter edit (Audio Control)					
				Back	
	PageUp	402:AUDIO_MONITOR_SEL			
	Up	403:PEAK_HOLD			
		411:AUDIO_SEL			
	Down	412:AUDIO_SEL1_2			
	PageDown	413:AUDIO_SEL3_4			













PARAMETER RESET 画面

すべてのパラメータをデフォルト値に戻します。 「Set」をタッチすると、デフォルト値に戻ります。



LCD BRIGHTNESS 画面



液晶モニターの輝度を調節します。 +ボタンをタッチすると明るくなります。 -ボタンをタッチすると暗くなります。



MULTI CONTROL 画面

この画面では、「同期運転」の設定を行います。 「同期運転オプション」が無効な場合、この画面は表示されません。

MENU>SETUP>MULTI CONTROL

	Multi con	trol menu	
			Back
Panel control]	MODE	
SLAVE UDR]		

パネル動作設定画面

UDR-N50A/N60のフロントパネルから同期運転の複数台制御を行います。

MENU>SETUP>MULTI CONTROL>PA	NEL	
	Panel multi control	
		Back
Cin al c		
Single		
🔿 Multi		
		Set

Single このUDR-N50A/N60単体を操作します。 Multi 複数のUDR-N50A/N60を連動して操作します。 Set ボタンをタッチすると確定します。Back ボタンで戻ります。



同期運転動作モード設定画面

同期運転の動作モードを設定します。

MENU>SETUP>MULTI CONTROL>MODE

	Multi control mode	
		Back
Stand alone		
O Master		
◯ Slave		
		Set

Stand alone 単独で動作させます。

Master 同期運転のマスター機に設定します。マスター機に設定した場合、パネルから複数台制御が可能です。 Slave 同期運転のスレーブ機に設定します。

Set ボタンをタッチすると確定します。Back ボタンで戻ります。

同期運転のスレーブ機設定画面

同期運転でマスター機が制御する、スレーブ機の設定を行います。 1 台のマスター機で最大7 台のスレーブ機を制御できます。

MENU>SETUP>MULTI CONTROL>IP

			_
	Slave UDR IP		
Slave1 :	UDRN50_red	EDIT	Back
Slave2 :	0	EDIT	
Slave3 :	0	EDIT	
Slave4 :	0	EDIT	
Slave5 :	0	EDIT	
Slave6 :	0	EDIT	
Slave7 :	UDRN50_cyan	EDIT	
			Set

EDIT ボタンをタッチして、スレーブ機のホスト名を編集画面に移動します。 使用しないスレーブ機のホスト名には"0"(数字のゼロ)を入力してください。 Set ボタンをタッチすると確定します。Back ボタンで戻ります。



スレーブ機のホスト名編集画面

スレーブ機のホスト名を編集します。 Back をタッチすると、編集を破棄して、設定画面に戻ります。 BS をタッチすると、1 文字削除します。 ENTER をタッチすると、編集を確定して、設定画面に戻ります。





shift をタッチすると、大文字と小文字を切り替えます。





alt をタッチすると、数字記号に切り替えます。



shift と alt を タッチすると、記号に切り替えます。

Keyboard

Reybourd			
	Slave1 :	: host name	
UDRN50_red			Back
· -	& ^	+ - * /]_=
Λ.	< > [] { } ()
!	? " "	: ; _ ,	
shift alt	SPC	BS EN	TER



5.4.6 SYSTEM メニュー

MENU>SYSTEM					
	System menu				
	VIEW	Systen	n menu MAINTENAI	NCE	Back

SYSTEM	VIEW 画面		
MENU>SYST	rem>view		
		System view menu	
			Back
	STATUS		
	HELP]	



STATUS メニュー画面 MENU>SYSTEM>VIEW>STATUS System status menu Back VERSION MEDIA PACK TEMPERATURE

VERSION ボタンをタッチすると、UDR のバージョン情報を表示します。 MEDIA PACK ボタンをタッチすると、ビデオメディアの情報を表示します。 TEMPERATURE ボタンをタッチすると、本体の温度情報を表示します。

.....

VERSION 画面

MENU>SYSTEM>VIEW>STATUS>VERSION

	System version	
Firmware vers	sion	Back
Version 4.5.2	(Build.rev.2665)	
System disk v	ersion	
Version 2.0.0		
Hardware vers	sion	
Main : 2664 (la1213_prom.zmcs 2013-12-04 04:05:05Z)	
Sub : 2427 (la	a1214_prom.zmcs 2013-05-21 02:59:04Z)	
Serial number	r	
Unit : 402200	43	
Hardware : 45	620037	

1 行目から順番に以下を表示します。
ファームウェアのバージョン
システムディスクのバージョン
ハードウェアの ROM のバージョン
装置のシリアル番号



MEDIA PACK STATUS 画面

現在 UDR が使用しているビデオメディアの情報を表示します。

MENU>SYSTEM>VIEW>STATUS>MEDIA PACK

Media pack status	
Media pack ID:0 SIZE:1192.36[GB] MODE:RO TYPE:SSD	Back
Speed grade : 120	
Drive [PHY:0_C:0_T:0_I:0] TOSHIBA (rev :0202) 33GS1062TS67 [TEMP:0]	
[PHY:0 C:0 T:1 L:0] TOSHIBA (rev.:0202) 33GS106KTS6Z [TEMP:0]	
[PHY:0 C:0 T:2 L:0] TOSHIBA (rev.:0202) 33GS1068TS6Z [TEMP:0]	
[PHY:0 C:0 T:3 L:0] TOSHIBA (rev.:0202) 33GS102FTS6Z [TEMP:0] [PHY:0 C:0 T:4 L:0] TOSHIBA (rev.:0202) 33GS106TTS6Z [TEMP:0]	
[PHY:0 C:0 T:5 L:0] TOSHIBA (rev.:0202) 33GS106ZTS6Z [TEMP:0]	

上段に、

ビデオメディアのシリアル番号。(※現在のファームウェアではサポートしていません。) ビデオメディアの容量。 ビデオメディアのモード(RW:書き込み可能,RO:リードオンリー)。 ビデオメディアのタイプ(SSD or HDD)。(※現在のファームウェアではサポートしていません。) を表示します。 下段に ビデオメディアを構成しているドライブの情報を表示します。 TEMP はドライブが対応している場合は温度(摂氏)を表示します。



TEMPERATURE 画面

UDR-N50A/N60の温度情報とファンの回転数を表示します。

MENU>SYSTEM>VIEW>STATUS>TEMPERATURE

	5	System temp	erature		
Status					Back
Good condition.				_	
Temperature					
Pack : 23.8[deg.]					
CPU : 46.0[deg.]					
FPGA : 53.1[deg.]				
BASE : 31.1[deg.]				
LCDCTRL : 27.0[c	deg.]				
Fan					
Speed : 1380[rpr	m]				
Pwm : 52[%]					

.....

status 行にはシステムの総合的な状態を表示します。 安全に運用できる場合「Good condition」と表示します。

temperature 行には、装置内部の温度情報を表示します。 ビデオメディアの温度 CPU の温度 FPGA の温度 BASE 基板の温度 LCD コントロール基板の温度

Fan 行には、装置の冷却用ファンの回転数とPWM 制御植を表示します。



HELP 画面

MENU>SYSTEM>VIEW>HELP	
	Help menu
	Back
COMPANY	SUPPORT

COMPANY 画面

J>SYSTEM>V	IEW>HELP>COMPANY	
	Company information	_
KG	KEISOKU GIKEN Co.,Ltd.	Back
The enter	prise should always evolve in the age. After	
establish	ment in 1973, KEISOKU GIKEN has been aiming to	
develop P	Power Supply Test System and Image Equipment to	
which it g	joes customer's needs ahead.	
Continuo	usly improving the value of the company by	
investing	human and intellectual resources to the Power	
market a	s well as Imaging industry to fulfill customer's	
needs an	d demands.	



SUPPORT 画面





MAINTENANCE 画面

MENU>SYSTEM>MAINTENANCE

Maint	enance menu	
		Back
FOLDER	NETWORK	
LOG	UPDATE	
CLOCK	HARDWARE	

フォルダ メンテナンス画面

MENU>SYSTEM>MAINTENANCE>	FOLDER	
	Maintenace folder menu	
		Back
DELETE		



MAINTENANCE ネットワーク画面

設定を行う ネットワークインターフェースを選択します。

MENU>SYSTEM>MAINTENANCE>NETWORK>SELECT



LAN0 (GbE): 標準装備の GbE を選択します。(LAN 端子)LAN1(10GbE): オプションの 10GbE を選択します。(10Gbe 端子)

Next をタッチして、次の画面に移動します。

ネットワークの設定を行います。

MENU>SYSTEI	M>MAINTE	NANCE>NET	WORK					
			Netwo	ork settin	g			
Host Nam	e: UDR	N50_brow	'n			EDIT		Back
IP	+ 172	+ 29	+ 131	+ 202		O Dł	НСР	
	-	•	-	-		🔿 st	ATIC	
NetMask	+ 255	+ 255	+	+	(Current	setting	
	10			-	_	NetMask Default G	: 255.255.0 W : 172.29.	.0 0.14
Default gateway	+ 172	+ 29	+ 131	+				nnly
	35			2 0 1				

EDIT をタッチすると、ホスト名編集画面に移動します。 DHCP と STATIC をタッチして、選択します。

STATIC の場合、左の IP アドレスとネットマスクとデフォルトゲートウェイの値を使います。

「+」をタッチして、値を増加します。タッチし続けると、連続して値が変わります。

「-」をタッチして、値を減少します。タッチし続けると、連続して値が変わります。

現在設定されている IP アドレスとネットマスクとデフォルトゲートウェイが画面左下に表示されます。 Apply をタッチして、設定します。



ホスト名の編集。



Back をタッチすると、編集を破棄して、前の画面に戻ります。 ENTER をタッチすると、編集を確定して、前の画面に戻ります。 BS をタッチすると、1文字削除します。



ログメニュー画面

Back

UDR のログを表示・エクスポート・クリアすることができます。

ログ表示画面

MENU>SYSTEM>MAIN	TENANCE>LOG>SELECT	
	Log file select	
		Back
Page	udrlog.0	
Up	updatelog	
	udrlog	
Dow	udrlog.1	
PageD	bown	
1 		



MENU>SYSTEM>MAINTENANCE>LOG>SELECT>VIEW

	Log file view	
	udrlog	Back
PageUp	2012/03/13 14:22:25 udrlogd: initialize done	
	2012/03/13 14:22:25 pwrmgr-noirq: logger connected	
	2012/03/13 14:22:25 pwrmgr-noirq: terminating(mypid=368664): signal=2	
	2012/03/13 14:22:25 pwrmgr-noirq: logger connected	
Lin	2012/03/13 14:22:25 pwrmgr-noirq: (ver 931) pri=10,sched=2,pid=757780	
op	2012/03/13 14:22:26 loghead: ************************************	
	2012/03/13 14:22:26 loghead: UDR System Firmware Version 1.1.1	
	2012/03/13 14:22:26 loghead: udrn50-2012_03_13-Rel_1_1_1_B (rev.1372)	
	2012/03/13 14:22:26 loghead: ************************************	
Down	2012/03/13 14:22:26 loghead: SystemID: 40210000	
	2012/03/13 14:22:26 loghead: hostname: UDRN50_SAKAMOTO	
	2012/03/13 14:22:26 loghead: (wm0) mode: DHCP	
1	2012/03/13 14:22:26 loghead: (wm0) addr: 172.29.64.55(255.255.0.0)	
DatasDatus	2012/03/13 14:22:26 loghead: (wm0) MAC: 00:80:17:77:12:ce	
Fagebowh	2012/03/13 14:22:26 loghead: (ix0) MAC: 00:1b:21:b7:6e:a0	
	2012/03/13 14:22:26 loghead: (ix1) MAC: 00:1b:21:b7:6e:a1	
2	2012/03/13 14:22:26 loghead: license (no optional license file)	
	2012/03/13 14:22:26 logecho: Boot Image Information	

選択画面で表示したいログを選択します。udrlogが現在のログです。udrlog.0, udrlog.1 と 数字が付くごとに古くなります。 ログ表示画面では、

PageUp ボタンで1ページ戻ります。 Up ボタンで1 行戻ります。 Down ボタンで1 行進みます。 PageDown ボタンで1 ページ進みます。 の操作ができます。 ログ表示開始時はログファイルの末尾を表示します・

ログエクスポート画面

MENU>SYSTEM>MAINTENANCE>LOG>EXPORT			
	Log export		
_		Back	
	PageUp usb0		
	Up		
	Down		
F	PageDown		



MENU>SYSTEM>MAINTENANCE>LC	OG>EXPORT>CONFIRM	
	Log export(confirm)	
Export disk (usb0) found.		Back
		Set
MENU>SYSTEM>MAINTENANCE>LC	G>EXPORT>CONFIRM	

	Log export(confirm)	
Export disk (usb0) found.		Back
-		
	Now exporting	Set

UDR のログを USB メモリにエクスポートする画面です。 リストからエクスポート先の USB メモリを選択します。 Set ボタンをタッチするとエクスポートを開始します。 エクスポート中は USB メモリを取り外さないでください。



ログクリア画面

MENU-SSYSTEM-SMAINTENANCE>LOG>CLEAR Back Back Are you sure you want to log clear? Set

UDR のログを全て消去します。 Set ボタンをタッチすると消去を開始します。

※注意

• 消去したログは復元できないため、操作は慎重に行ってください。

MAINTENANCE UPDATE 画面





MENU>SYSTEM>M	IAINTENANCE>UPDATE>COPY	
	Copy new firm ware.	
<mark>New firm war</mark>	e (/fs/usb0/udr-n50_firm/120313.a/udrrelease) found.	Back
MENILISSYSTEMSM		Set
	Copy new firm ware.	
New firm war	e (/fs/usb0/udr-n50_firm/120313.a/udrrelease) found.	Back
	Update file copy start	Set

UDR 本体のファームウェアを更新します。

ファームウェアアップデートファイルは必要に応じて計測技術研究所から提供されます。

提供されたファームウェアは USB メモリにコピーします。

ファームウェアをコピーした USB メモリを UDR 本体に接続して、アップデート画面を表示します。 USB メモリ上の有効なファームウェアがリスト表示されます。 Set ボタンをタッチするとファームウェアのコピーを開始します。

コピー中はUSBメモリを取り外さないでください。

コピーが完了したら、USBメモリを取り外してUDRの電源を切り再起動してください。 再起動時にアップデートが実行されます。



MAINTENANCE CLOCK 画面

MENU>SYSTEM>MAINTENANCE>CLOCK		
System clock		
Date : 2012/03/13	DATE	Back
Time : 15:34:10	TIME	
Time zone : Japan GMT +9:00	TIME ZONE	

DATE ボタンをタッチすると 日付変更画面に移動します。 TIME ボタンをタッチすると 時刻変更画面に移動します。 TIMEZONE ボタンをタッチすると タイムゾーン変更画面に移動します。

CLOCK DATE 画面



日付変更画面は、西暦・月・日の順番に表示されます。 +ボタンをタッチすると数値が増えます。 --ボタンをタッチすると数値が減ります。 Set ボタンをタッチすると 日付変更が確定してクロック設定画面に戻ります。

pg. 103



CLOCK TIME 画面

MENU>SYSTEM>MA	INTENANCE>CLOC	
Î		e setting
+	+	Back
15	24	
12	54	
	•	
		Set

時刻変更画面は、時・分の順番に表示されます。

+ボタンをタッチすると数値が増えます。

ーボタンをタッチすると数値が減ります。

Set ボタンをタッチすると、時刻変更が確定してクロック設定画面に戻ります。

CLOCK TIMEZONE 画面





ハードウェア画面

MENU>SYSTEM>MAINTENANCE>HARDWARE



UDRのハードウェアテストやコンフィギュレーション ROM の更新を行います。

CALIBRATION ボタン 25 点補正のキャリブレーションを行います。

LCD ボタン タッチスクリーンのテスト画面です。

MEDIA REFRESH ボタン SSD の Secure Erase 機能を使って、ビデオメディアの転送速度回復を行います。 ROM UPDATE ボタン ハードウェアコンフィギュレーション ROM の更新を行ないます。

タッチスクリーン キャリブレーション画面

タッチスクリーンのキャリブレーションを行います。

工場出荷時にキャリブレーションを行っていますが、なんらかの理由でズレが生じた場合に 再キャリブレーションを行います。

タッチペンのような細い物体で、画面上の円を正確にタッチしてください。

キャリブレーションが完了するとホーム画面に戻ります。

MENU ボタンを押すことで、キャリブレーションを中止して HOME 画面に戻ることができます。

(まったくキャリブレーションされていない場合には中止できません)

Touch points [0 / 25]	

キャリブレーションポイントをタッチすると、ゲージが上昇し、データのサンプリングが完了します。





これを25回繰り返します。

※ キャリブレーション完了後はLCD 画面でキャリブレーションの結果を確認するようにして下さい。

タッチスクリーンテスト画面



タッチスクリーンと液晶表示のデバッグ用画面です。 タッチしている点にマーカーが表示されます。



MEDIA REFRESH 画面

MEDIA REFRESH を行います。

Next ボタンをタッチするとビデオメディアがリフレッシュを行える状態かチェックします。



※注意

• Fixstars 製の SSD を含むビデオメディアは、MEDIA REFRESH 機能をご使用になれません。

MEDIA REFRESH を行うには、ビデオメディア内の全てのフォルダを削除する必要があります。

以下の画面が表示された場合、実行する前にビデオメディア内の全てのフォルダの削除操作を行って下さい。

MENU>SYSTEM>MAINTENANCE>HARDWARE>MEDIAREFRESH Back Back

pg. 107



実行可能状態であれば、以下の画面が表示されます。 Exec ボタンをタッチして MEDIA REFRESH を実行します。 完了するまで時間がかかることがあります。



実行中は絶対に電源を切らないでください。

MENU>SYSTEM	I>MAINTENANCE>HARDWARE>MEDIAREFRESH>EXEC	
	Media Refresh execute	
	Do not turn off the newer	
	Do not turn on the power.	
	Media Refresh is in progress. Please wait	

完了すると以下の画面を表示します。




ハードウェアコンフィギュレーション ROM 更新画面

MENU>SYSTEM>MAINTENANCE>HARDWARE>ROMUPDATE



通常は ROM の更新が必要ないので「ROM update is not required.」と表示されます。 ROM の更新が必要な場合は、更新を要求されますので更新を行ってください。



I	ROM update	Back
ROM	I update is required. push Next butt	on.
		Next
0.8500.000002500.9200.0200.000		
MENU>SYSTEM>N	MAINTENANCE>HARDWARE>ROMUPDATE>EXEC	
MENU>SYSTEM>N	IAINTENANCE>HARDWARE>ROMUPDATE>EXEC	Back
MENU>SYSTEM>N	AINTENANCE>HARDWARE>ROMUPDATE>EXEC ROM update execute Do not turn off the power.	Back
MENU>SYSTEM>N	AINTENANCE>HARDWARE>ROMUPDATE>EXEC ROM update execute Do not turn off the power. push exec button	Back



MENU>SYSTEM>MAINTENANCE>HARDWARE>ROMUPDATE>EXEC Back Back ROM update was successful. Please reboot can not open ../Ica/UDRBC/Ia1214_prom.zmcs

ROM の更新が必要な場合、「ROM update is required. push Next button.」と表示 されるので Next ボタンをタッチします。 次に Exec ボタンをタッチして ROM の更新を実行します。 ROM の更新中は絶対に電源を切らないでください。 電源が切れた場合, 正常に起動しないおそれがあります。(工場で ROM の再書き込みが必要になります。) 書き込みが完了したら、電源を切って再起動します。



5.4.7 PLAYBACK メニュー

ME	NU	J>F	PLAY

MENU>PLAY					
	F	layback me	enu		
				[① Back
	[©] SCRIPT		³ LOOP		

- ⑦ Back ボタン メインメニューに戻ります。
- ⑧ SCRIPT ボタン スクリプト画面に移動します。 スクリプト実行については p.156 を参照下さい。
- ③ LOOP ボタン ループ再生画面に移動します。 ループ再生については p.145 を参照下さい。



6 同期運転 (オプション)

同期運転とは複数の UDR-N50A/N60 を連動させて動かす機能です。この機能により UDR-N50A/N60 単体では難しかった、 より高解像度のコンテンツを扱うことができます。 UDR-N50A/N60 は最大 8 台までの同期運転が可能です。 この機能は有償オプションとなります。

6.1 マスター機とスレーブ機について

同期運転では、1台のマスター機と残りのスレーブ機という形で運用します。

マスター機とスレーブ機はネットワーク経由の独自プロトコルで通信を行い、リアルタイム制御を行なっています。



※マスター機とスレーブ機の通信を遅延なく行うため、同一のハブに接続してください。

6.2 必要な機材

同期運転には、 GbE ハブ 同期信号発生器 が必要です。また、LAN ケーブル、同軸ケーブルも台数分必要になります。 同期運転では、オンボードの GbE を使用します。オプションの 10GbE は使用しません。 また、同期運転で使用するビデオメディアは、すべて同一モデル(容量、スピードグレード)にしてください。



6.3 必要な設定

同期運転では、1 台をマスター機、残りをスレーブ機と設定します。(* 同期運転動作モード設定画面へのリンク) また、それぞれの UDR-N50A/N60 に固有のホスト名を設定する必要があります。(* MAINTENANCE ネットワーク画面へのリンク)

マスター機には、使用するスレーブ機の一覧を設定します。 (* 同期運転のスレーブ機設定画面へのリンク)

同期運転で使用するビデオメディアには、同一仕様 (フォルダテンプレート、長さ、サブチャネル、フォルダ名)でフォルダ を作成しておいてください。

必要であれば、個別にデータのロードを行なってください。



警告

UDR-N60とUDR-N50A での同期運転では、UDR-N50A をマスターにする必要があります。

6-1

6.3.1 パネルから操作する場合

マスター機の「パネル動作設定」をMultiに設定してください。(* パネル動作設定画面へのリンク) あとは、通常と同じように、タッチパネルでフォルダのオープン、スイッチで再生、記録が可能です。

また、マスター機でフォルダを作成すると、自動的にスレーブ機にも同じ名前でフォルダが作られます。

6.3.2 JUDR から操作する場合

マスター機の COM15 に接続してください。 あとは、通常と同じように、フォルダのオープン、再生、記録が可能です。

また、マスター機でフォルダを作成すると、自動的にスレーブ機にも同じ名前でフォルダが作られます。



6.4 操作方法

6.4.1 ホスト名の確認

同期運転の設定を行うためには、同期させる UDR-N50A/N60 のホスト名が必要です。 ホスト名は前パネルから確認と変更ができます。 前パネルのホーム画面で MENU スイッチを押します。

MENU			
		MAIN MENU	
			Back
	FOLDER	VIDEO	
	TIMECODE	AUDIO	
	SETUP	SYSTEM	PLAYBACK

SYSTEM - MAINTENANCE - NETWORK の順番でタッチします。

インターフェース選択画面になるので、同期運転で使用する「LAN0(GbE)」を選択して、Nextをタッチします。

MENU>SYSTEM	>MAINTENAN	NCE>NETWORK>SELECT	
		Network interface select	
			Back
	PageUp	LAN0(GbE)	
	Up	LAN1(10GbE)	
	Down		
	PageDown		
			Next

ネットワーク設定画面になります。



MENU>SYSTEI	M>MAINTE	NANCE>NET	rwork		
			Netwo	ork settir	ng
Host Name	UDR	N50_brow	/n		EDIT Back
	+	+	+	+	
IP	172	29	131	202	Dirici
	3 5 3	-	•		◯ STATIC
	÷	+	+	+	Current setting
NetMask	255	255	0	0	IP + 172 29 64 74
	-	-	-		NetMask : 255.255.0.0
	+	+	+	÷	Default GW : 172.29.0.14
Default	172	29	131	1	
gateway	-	-	-	s ≂ 1;	Apply

ここで表示される Host Name を覚えておきます。



6.4.2 ビデオモジュール名 (COM1 と COM15)

UDR-N50A/N60を制御するときに使用するビデオモジュールの名前として、

COM1 単体の UDR-N50A/N60 を制御します。

COM15 複数の UDR-N50A/N60 を同期して制御します。

の2つがあります。この文章では、個別制御と全体制御の使い分けでこの名前を使います。

接続の作成		×	l.
接続の種類と対象			
 イーサーネット 	UDRN50_turquoise	2	
ファイバーチャネル		*	
ビデオモジュールの選択	-15 12		
ビデオモジュール	15:CO M		
ビデオモジュールを選択U	TUDRN50		
			COM15
	決定	し取り消し	

マスター機はCOM1とCOM15の2つのビデオモジュールを持ちます。

スレーブ機はCOM1のみ持ちます。

	COM1	COM15
マスター機	0	0
スレープ機	0	×

この文章では、例として、以下のホスト名を使います。

役目	ホスト名
マスター機	UDRN50_turquoise
スレープ機	UDRN50_brown
スレープ機	UDRN50_ivory
スレープ機	UDRN50_coral





JUDR でマスター機 (UDRN50_turquoise) の COM1 に接続します。

JUDR	the state of the second st	• ×
ファイル(F) ウインドウ(W)) ANJ(H)	
接続リスト(C) ト	URN50_turquoiss - URN50(10: 1)	
40世f(D)	172.29.84 ² 84 - UORM50(10= 1)	
新規接続(N)	UDRWSD_brown - UDRWS0(1D= 1)	
接続管理(M)		
プリファレンス(P)		
ライセンス(L)		
終了(E)		
UDR Glose		
14 million (1997)		

接続したら、メニューのシステム - パラメータセットアップを選択します。

13/10/2016/00 13/10/2016/00 13/20/2016/00 ISSTER (S) ジール(T) アイカリスト(T) ER CLOSED ビデオクシースト(T) ER CLOSED ビデオクシースト(T) INT CCJUEW N スカステータス(T) オリークセットア・マブ(P) TCCJUEW N スカステータス(T) オリークセットア・マブ(P) INT CCJUEW N スカステータス(T) オリークセットア・マブ(P) TCCJUEW N スカステータス(T) オリーク オリーク TATT CCJUEW N スリーク REC BB BB REC PHIBIT マレームレート 10000 CFオ マンームレート 100000 CFオ マンームレート 1000000 CFオ マンームレート 100000000000000000000000000000000000	DR (UDRN50)		an other seat	NAME AND ADDRESS	and the second	
TOURNOU - EDERING (12/2,20,5-30) SZREX(S) ジール(7) ファイル 10(F) UD R フォルダリスト(7) ER CLOSED ビディクリスト(7) D レーン(7) TCCブリセット スカステーシャト(7) TCCブリセット スカステーシス(1) オリーン(1) アレーン(1) スカステーシス(1) オリーン(1) アレーン(1) アレーン(1) アレーン(1) アレーン(1) アレーン(1) アレーン(2) アレーン(2) アレーン(2) PD アブ PD アブ </th <th>(A)(F) (A) (A) (A) (A)</th> <th>22 (H)</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>	(A)(F) (A) (A) (A) (A)	22 (H)				
ビステム(ち) ダール(ナ) ダイル ガ(に) ビアオノルダリスト(下) ビデオフナーマット(V) ログビューフー(L) ア(テレクレスト(下) ビアスフレ(V) ア(ワ) TCGブリビット スカステータス(C) ガリエーム ガリエーム オ83 副除サ(ス ビアト ビアレームSE アレームSE アレームSE ビアオン 1000 ジオン ジオン ジャンスル マレームレート 1000 ジオン ジオン ジオン ジオン ジャンスル ジャンスト ジャンスト ジャンスル ジャンスト ジャンスト </th <th>1:UDRN50 - Etheme</th> <th>(172.29.64.61)</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>	1:UDRN50 - Etheme	(172.29.64.61)				
UDRフォルダリスト(F) FR CLOSED ビデオフォーマット(V) ログビューワー(L) レグラークレント PLAY アレームな パコーム パマンークマレ(L) パコーム パマンークマレ(L) パリューム パロレート ビジナーシント ジアム ビジナーシント ジャーシー ビジン ジャーシー ビジン <th>システム(S) シール(T)</th> <th>27-116-1/0(F)</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>	システム(S) シール(T)	27-116-1/0(F)				
デイクリスト(1) ER CLOSED ビデオフォーマット(v) ログビューフー(L) パラメータセットア・ブ(P) PLAY TCCプリビット パリューム メカステータス(t) パリューム パシューム パリューム 第83 ビット 国路サイズ ビット 国路サイズ ビット 国路サイズ ビット アレーム対 ヴブチッンネル ジンドムレート ジジラ・シスル ジンドムレート ジジラ・シスル ジンドム ジンド・シン ジイク ビット ジャーマット 1000/50.94(p) スロット値号 デイク ビット ジート ジャーシ ジート ジーシ ジート ジーシ ジー ・ ジー	UDRフォルタリス	KP(F)				
ビデオフォーマット(v) ログビューフー(1) パ(ラメーグビットアットプ(P) PLAY TCCプリビット アレーム 北京大学・タス(t) ガリューム ガリューム ガリューム オリコーム オリコーム オリコーム オリコーム オリコーム オリコーム オリコーム オリコーム オリコーム サブチャンネル オリカーマット オリカー スロットボー オリカーマット 1000 (1) ウンテム サブチャンネル オリカーマット 1000 (1) ウンテム サブチャンネル オリカーマット 1000 (1) ウンテム アレームレート オリカーマット 1000 (1) ウンテム アレームレート オリカーマット 1000 (1) ウント アレームレート オリカーマット 1000 (1) ウント アレームレート ウント アレームレート オリカー アレーム オリカー アレーム ウント アレーム オリカー アレーム オリカー アレーム オリカー アレーム オリカー </td <td>テイクリスト(T)</td> <td>ER GLO</td> <td>JSED -</td> <td></td> <td></td> <td></td>	テイクリスト(T)	ER GLO	JSED -			
ログビューフー(L) PLAY FF PEO パラスークセントアアブ(P) アイジェーム 13 TCGブリセット ガリューム オカステータス(t) ガリューム ガリボーム アイルタ 開きサイス ビット 超差 ビット 超差 ビット センジ アクルタ マンシ アクルタ マンシ アクリッシン・ マンシ ロシームシー・ マンテム マンティル マンテム マンティル マンテム ロシームシー・ マンテム マンティル マンテム 1000/55.94p マイク アイク/回外 サラチ (サラチ (ビデオフォーマット	r-(V)				
パラメータセットアドプ(ア) FLAY FP FD TCGブリセット パコニーム フォルター スカステータス(t) パコニーム 第3式 アレーム 超級 E2+1 超級 E3+2 22:2 FD:0プ アレームシレート 42:5 42:5 02:5:4 27:5-ム FD:0プ 27:5-ム FD:0プ 27:5-ム 1000/58.94p 27:5-ム 1000/58.94p 27:5-4 F-/2/2/2/2 27:5-4 F-/2/2/2 27:5-4 1000/58.94p 27:5-4 F-/2/2/2	ログビューワー(L)	DI ALL ST				
TCCプリビット ID 入力ステータス(1) 約3-1 別名式 2月10日 別名式 2月10日 別名式 2月10日 副給サイズ ビクト 副給サイズ ビクト 副給サイズ ビクト 副給サイズ ビクト 国給サイズ ビクト 国給サイズ ビクト 国会 1000 ジェック 1000 ジェック ジェック ジェック ジェック ジェック 1000 ジェック ジェック ジェック 1000 ジェック ジェック ジェック 1000 ジェック 1000 ジェック 1000 ジェック ジェック ジェック 1000 ジェック 1000 <td< td=""><td>パラメータセットフ</td><td>PN Z(P)</td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	パラメータセットフ	PN Z(P)				
入力ステータス(t) ガリェーム フォルク 別まてム フォルク フォルク 別まて、 国際サイス ピット Ens(t) ジェーム シェーム シェーム ジェーム シェーム シェーム ジェーム シェーム シェーム ジェーム ビット ジェーム シェーム ジェーム ジェーム ジェーム ビット ジェーム ジェーム ジェーム シェーム	TOGプリセット	20				
入力ステータス(1) 約3-5 Past 240.9 回修サイズ E0.5 回修サイズ E0.5 経営 Past 28.22 Past 7レーム気化 サフチャンネル 7レーム気化 サフチャンネル 7レーム気化 サフチャンネル 7レームスト 4025 OH 25オフォーマット 1000/55 94p スロット値号 25 (247 テイン派別	1000000000000		19			
プラボダー 消除す 加除サイズ 超減 2612 2612 2612 2612 2612 2612 2612 2612 2612 2612 2612 2612 2612 2612 2612 2612 2754 27554 2754 27554 <	入力ステータス(I)		#11-1-			
AGR 副師サパス ビット 記師サパス ビット 記師サパス ビット 記師サパス ビット 記師サパス ビット 記師サパス ビット 記師サパス ビット 記師サパス ビット 日本 (大) 日本 (大)			711.9			
画像サイズ E25F 目前(数) 短期 E35(1) 設定置 PEC0 PHIBIT フレーム数 - サブチャンネル 25月オ マントムレート 総数 OH システム 1000/59.94p スロット通号 デイク (春号 (デイク デイク	形式		The second second			
1922年 1922年 1925年 フレーム版社 - ドロップ MDF サブチャンネル マレームレート	画像サイズ	Eds(K)	1 244			
Real Provided Provi	(मून्द्र)		1392.29			
フレーム数 - FD5 つ 100 F O E J A フレームレート 初日 - FD5 つ システム	3K.E	Î. marat	REC INHIBIT			
フレームレート 収録 OH システム ビデブカーマット 1000/59.94p スロット値号 第号 (サイトル ライク・ 第号 (ナイン温沢	フレーム数	_ F097	100F O C 14			
システム システム ジステム 1000/50.94p スロット番号 0 デイク サラ (* / *) *) ウイトル デイン選択 *)	フレームレート	57592-670 dn# cu				
2027な 2学プロター・マット 1000/59.94p スロット通号 0 テイク 巻号 (* / *) みイトル フィクス語が		AX10 OF				
747 書号 (*/ *) 9(1)↓ → ()→()温報	システム アデオフォーマット	1000/59 940 20% #1	e .			
#号 (*/ *) タイトル (*/ *)	740	teres and the second second	*			
沙什山 (字句)/昭和	# 국	(*/ *)			
	91Hu		王砂選択			
			Transfer the second			
	Open [Ethernet]					



パラメータ表示と設定画面で、1010:SCOM_MASTER, 1020:SCOM_UDR_IP1~7を変更します。 SCOM_MASTER にはマスター機の場合、「MASTER」を設定します。 SCOM_UDR_IP1~7には、スレーブ機のホスト名を入力します。使用しない場合「0」を入力します。 EDIT_DELAY に「7」を設定します。マスター機とスレーブ機で同じ数値にします。

🔚 保存 😽 😽 🖏 読み込ん	33 EDBI				
パラメータリスト					
ID 名前	記印	No.0	No.1	No.2	
803 LIGHT REC TALLY	Set rec tally LED Enable/Disable	ENABLE	T.		
804 BEEP IN REC	Beep, when starting or stopping the recording.	DISABLE			
811 CUEUP AFTER REC	Cueup after recording [reel only].	ENABLE			
812 RUSH_PLAY_MODE	Rush-play mode ON/OFF	OFF			
1001 REMOTE LAN	Host LAN	ALL ENABLE			
1002 LOCAL_ENABLE	Local(panel)	ALLENABLE			
1003 LOCAL_LAN1	LOCAL-LAN1	ENABLE			
1010 SCOM_MASTER	SCOM function	MASTER			
1020 SCOM_UDR_IP1	Multi Control Slave1	UDRN50_brown	U		
021 SCOM_UDR_IP2	Multi Control Slave2	UDRN50_ivory	1010 · SCON		M function
1022 SCOM_UDR_IP3	Multi Control Slave3	UDRN50_coral	T		Tranceion
1023 SCOM_UDR_IP4	Multi Control Slave4	0			
1024 SCOM_UDR_IP5	Multi Control Slave5	0			
1025 SCOM_UDR_IP6	Multi Control Slave6	0			
1026 SCOM_UDR_IP7	Multi Control Slave7	0			
2001 CUEUP_CNT	Cue up frame count	0			1.0
2002 MAX_DISK_REQ	Max disk request count	0	0		
2003 CACHE_CLR_INTERV.	.Cache clear interval [sec]	-1			
2004 MAX_PREREAD_CNT	Max pre-read frame count	0			8
2005 PLAY_BUF_RATIO	Play buffer percent[%]	66			
2006 AUTO_EE	Output thru in recording.	ON			
2008 EDIT_DELAY	EDIT delay [frame]	7			
2009 THRU_MODE	Thru mode	Default			
2019 EMB_AUDIO_ENABLE	Embedded audio ON/OFF	ON			
2023 IGNORE_FRATE	Ignore folder frame rate at play	OFF	10		Ŧ
メッセージ ペラメータ SCOM_UDR_IP3 が3	変更されました。				

パラメータ番号	パラメータ名	設定する値
1010	SCOM_MASTER	MASTER
1020	SCOM_UDR_IP1	UDRN50_brown
1021	SCOM_UDR_IP2	UDRN50_ivory
1022	SCOM_UDR_IP3	UDRN50_coral
1023	SCOM_UDR_IP4	0 (使用しない)
1024	SCOM_UDR_IP5	0 (使用しない)
1025	SCOM_UDR_IP6	0(使用しない)
1026	SCOM_UDR_IP7	0(使用しない)
2008	EDIT_DELAY	7





JUDR でスレーブ機(UDRN50_brown)の COM1 に接続します。

JUDR		 -	and the second se	
ファイル(F) ウインドウ(W) ヘルプ(H)			
接続リスト(C) ト	UDRN50_turquoise - UDRN50([D= 1)			•
切断(D)	172.28.84.84 - UDRN50(10= 1)			
新規接続(N)	UDRN50_brown _UDRN50(10= 1)			
接続管理(M)				
プリファレンス(P)				
ライセンス(L)				
₩1(E)				
1				
-				÷
(UDB Char				,
DUR GIBER		 _		

接続したら、メニューのシステム - パラメータセットアップを選択します。

JUDR (UDRN50)	and the second second	1. Mar 100, Mar.	- second second second	and the second se	
ファイル(F) ウインドワ(W) ヘルプ(H)					
1:UDRN50 - Ethernet(172.29.64	1.92)				
システム(S) ツール(T) ファイル 1	/0(F)				
UDRフォルダリスト(F) テイクリスト(T)	- ER CLOSED				
ビデオフォーマット(V) ログビューワー(L)					
ノ(ラメータセットアップ(P) TCGプリセッド		19			
入力ステータス(1)		- <u>1</u>			
形式 画像サイズ	Eph	大学校			
種類	Dox(o.)	Service and a service of the service			
設定		REC INHIBIT			
フレーム数t - ドロップ サプチャ フレームレート - 収録 c	MDF «ጋネル DH	U ETA			
システム ビデオフォーマット 2Kx1000/	/59.94p スロット番号				
テイク 参号 タイトル	(*/ _	*) デイク選択			
(
UDR Open [Ethernet]					



パラメータ表示と設定画面で、1010:SCOM_MASTER, 1020:SCOM_UDR_IP1~7を変更します。 SCOM_MASTER にはスレーブ機の場合、「SLAVE」を設定します。 SCOM_UDR_IP1~7には、使用しないのですべて「0」を入力します。 EDIT_DELAY には、「7」を設定します。マスター機とスレーブ機で同じ数値にします。

💾 保存 🛛 😽 読み込	க 🤹 வி				
パラメータリスト					
ID 名前	說明	No.0	No.1	No.2	
	Worning threshold [9] for free appeal	10			
	Set rec tally I ED Enable /Dicable	ENABLE			
ROA BEED IN REC	Been when starting or stopping the recording	DISABLE			
R11 CUEUP AFTER REG	Cueup after recording freet only]	ENABLE			
12 BUSH PLAY MODE	Bush-play mode ON/OFF	OFF		1	
1001 REMOTE LAN	Host LAN	ALL ENABLE			
1002 LOCAL ENABLE	Local(panel)	ALL ENABLE		1	
1003 LOCAL LAN1	LOCAL-LAN1	ENABLE			
1010 SCOM MASTER	SCOM function	STAND	1		
1020 SCOM_UDR_IP1	Multi Control Slave1	STAND-ALON		1 1	
1021 SCOM_UDR_IP2	Multi Control Slave2	SLAVE N			
1022 SCOM_UDR_IP3	Multi Control Slave3	MASTER 13			
1023 SCOM_UDR_IP4	Multi Control Slave4				
024 SCOM_UDR_IP5	Multi Control Slave5				
025 SCOM_UDR_IP6	Multi Control Slave6				
026 SCOM_UDR_IP7	Multi Control Slave7				
2001 CUEUP_CNT	Cue up frame count	0			
2002 MAX_DISK_REQ	Max disk request count	0			E
2003 CACHE_CLR_INTERV	Cache clear interval [sec]	-1			
2004 MAX_PREREAD_CNT	Max pre-read frame count	0			
2005 PLAY_BUF_RATIO	Play buffer percent[%]	66			
2006 AUTO_EE	Output thru in recording.	ON			
2008 EDIT_DELAY	EDIT delay [frame]	7			
2009 THRU_MODE	Thru mode	Default			-
0010 FMR ALINIO ENARLE	Embedded audio ON/OEE			1	
メッセージ					

パラメータ番号	パラメータ名	設定する値
1010	SCOM_MASTER	SLAVE
1020	SCOM_UDR_IP1	0 (使用しない)
1021	SCOM_UDR_IP2	0 (使用しない)
1022	SCOM_UDR_IP3	0 (使用しない)
1023	SCOM_UDR_IP4	0 (使用しない)
1024	SCOM_UDR_IP5	0 (使用しない)
1025	SCOM_UDR_IP6	0 (使用しない)
1026	SCOM_UDR_IP7	0 (使用しない)
2008	EDIT_DELAY	7

残りのスレープ機(UDRN50_ivory, UDRN50_coral)も同様に設定します。



6.4.5 同期運転のフォルダ構成

同期運転を行う UDR-N50A/N60 はビデオメディアのフォルダ構成が完全に一致している必要があります。(同期しているフォルダと呼びます)

一致していないフォルダは選択することができません。





フォルダ構成を一致させるには?

フォルダ構成を一致させる、もっとも簡単な方法は、すべてのフォルダを削除して、改めて COM15 を使いフォルダを作成する 方法です。

注意:以下の手順を実行するとビデオメディアの映像が削除されます。重要な映像はバックアップをとってください。

JUDR でマスター機に COM1 で接続します。 メニューからシステム - UDR フォルダリストを選びます。 削除アイコンを使い、すべてのフォルダを削除します。

システム(5) ツール(1) ファイル 10(5) STAF L(5) ツール(1) ファイル 10(5) UDR-FOLDER CLOSED UDR-FOLDER (1) シェイル 2015 10000 <th>システム(5) シットル(1) ファイル 10(5) UDR-FOLDER CLOSED UDR-FOLDER CLOSED UDR-FOLDER CLOSED (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)<th>イル(F) ウインドウ(W) へい</th><th>,プ(H)</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>L^e</th></th>	システム(5) シットル(1) ファイル 10(5) UDR-FOLDER CLOSED UDR-FOLDER CLOSED UDR-FOLDER CLOSED (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) <th>イル(F) ウインドウ(W) へい</th> <th>,プ(H)</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>L^e</th>	イル(F) ウインドウ(W) へい	,プ(H)							L ^e
STUL UDR-FOLDER CLOSED UDR-FOLDER CLOSED UDR-SU/JS/2007 UDR-FOLDER CLOSED UDR-SU/JS/2007 UDR-SU/JS/2007 WT 2007 UDR-SU/JS/2007	No. Sale Finite UDR-FOLDER CLOSED UDR-FOLDER CLOSED UDR-FOLDER CLOSED Image: Closed	1.000×/00 - Elite like	77240100) =)	-					
UDR-FOLDER CLOSED UDR2#///> UDR2#///> UDR2#///> UDR2#///> UDR2#///	UDR-FOLDER CLOSED ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2777 (4(4) 2 10(1)	Shull	7	1					
UDR2+1/1-5 UDR2+1/1-5 UDR2+1/2-5 UDR2-1/2-5 UDR2+1/2-5 UDR2-1/2-5 UDR2-	UDR フォルク活動化 Min (A) 活用(A) デ P(A)	UDR-	FOLDER	RCLOSED						
BE REVA SE(V) UDR(7)+()/2.5% (1)	EE Rev S UDRC201252 100		UDR7	オルダ遣択	X1				-	
C tool C (1) C (2)	LUDRD=#152 日本	O'RE DOW &	. 接作(A) 表	示(V)						
パリ、ファ、北京 PE2 サイズ 1983 月14 PE2	PD 76 名目 R2 サイズ DND 万士 PD		UDR75112	SOURCE ST 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	7					
UDB/(#)/PC-E 0 0 00/00/0010_5P 10000 2827784 rdsb (D04.42.83.937) rdsch8 第5式 0 384402101_072_20P 1004 210584 rdsb 102211080 1014.42.23.937 adch8 0 384402101_072_20P 1004 210584 rdsb 102211080 1014.42.23.937 adch8 0 384402101_072_20P 1004 210584 rdsb 102211080 1014.42.23.937 adch8 0 38440210_072_20P 1004 210584 rdsb 102211080 1014.42.23.937 adch8 0 419200100_112_198 1004 210584 rdsb 1922b 1000 1014.42.23.937 adch8 21/12_A/L 0 419200100_112_198 1004 314104 rdsb 1922b 1000 1014.42.2 9544r 21/12_A/L 1004 314104 rdsb 1922b 1000 1014.42.2 9544r 10/12_172_20 1004 314104 rdsb 1922b 1000 1014.42.2 9544r 10/12_172_20 1004 314104 rdsb 1922b 10104.42.2 9544r 1922b	UDU/04/07/20-20 UDU/04/2010_51P 10000 22173/Wrobe U0104 221 504 pp. 20043 第55 1 1 1000000000000000000000000000000000000	LUDGE	10 70	- 名前	Ră.	. . .	(ズ [MB] 腐性	517		
構成でしている構成を引き、 0.000 3.71000000000 102201.000 0.000 3.710000000000 102201.000 0.000 102001.000.23 2015 sacchi 画像サイズ 0 0.0000.012.2500 0.0000 10200.0000.0100.0000 0.0000 10200.0000.000.0000 0.0000 10200.0000.000.0000 0.0000 10200.0000.000.0000 0.0000 10200.0000.000.0000 0.0000 10200.0000.000.0000 0.0000 10200.0000.0000.0000 0.0000 10200.0000.000.0000 0.0000 10200.0000.000.0000 0.0000 10200.0000.000.0000 0.0000 10000.0000.0000 0.0000 10200.0000.0000.0000 0.0000 10200.0000.0000.0000 0.0000 10200.0000.0000.0000 0.0000 10200.0000.0000.0000 0.0000 10000.0000.0000.0000 0.0000 10000.0000.0000 0.0000.0000.0000 0.0000.0000.0000 0.0000.0000.0000.0000 0.0000.0000.0000.0000 0.0000.0000.0000.0000 0.0000.0000.0000.0000 0.0000.0000.0000.0000.0000 0.0000.0000.0000.0000.0000.0000.0000 0.0000.0000.0000.0000.0000.0000.0000 0.0000.0000.0000.0000.0000.0000.0000 0.0000.0000.0000.0000.0000.0000.0000.	構成でしている 00 837(2001/102,207 0000 837(2001/102,207 1000 1002/01/000 1002/01/00 1002/01/00 1000/01/00	0087#382	0	04096X2160_51P		1000	28277WF nable	2048x 1080 10bit 423	2 59.94p subch3	
時日 1000000000000000000000000000000000000	特式 1000 10000 1	161	0	18840X2150_R0B_29P 28840X2150_432_29P	-	1000	81709WFitable	1920x 1080 10bit 444	1 29.97p subch3	_
当時サイズ 0 4192001000_02_56 1000 Stallwiebe 1192001000 100.432 5934 日本 53(第) 10-40年 20-40年 20-40日 20-40	当時サイズ (1 41520x1000_122_56) 1000(Stat)keneole 11520x1000 116n 632 5534) 日本 日本 フレームレーキ ジステム ジイブムーキ ジイブローン(1) ジイブローン(1) ジイワローン(1) ジイブローン(1) ジイヤ ジイブローン(1) ジイローン(1) ジイローン(1) ジイローン(1) ジイローン(1) ジイローン(1) ジイローン(1) ジーン(1) ジーン(1	形式	0.0	1192001000_PGB_29Fx25h	10	1000	15100VE Hat Is	1920-1000-1001-444	A 2019 to match	
後期 設定 コレームレート システル ビデオフラーマット ラ・10 曲常 タイトル	後期 設定 フレームレート システル とプイフターマット テ・10 単常 多・15ル 単で 「リストで強化されたときにUDADラールが密定 (リストで強化されたときにUDADラールが密定) (ウインドの容明に) (ウインドの容明に)	画体サイズ	0	4 19 20 (1080 422 591		1000	5341)WHable	1920x 1080 106it 42:	2 59.941	
4		フレームレート システム とデオフォーマット テイク 番号 タイトル								
1111	2010ストで遺跡をわたときにUDRD+ルタを取 2010ストで遺跡をわたときにUDRD+ルタを取 の心かりを測し。	211/2								
19/0A1C28763752236200H794/9837A の心外的名称2			1. In							
シルシャンを守しる	9.CM9880.8		M UXEC &	ALCOINESSIEN IDH DA V 各級部(-	ALC: UNK OFFICE	
									りわれり組制	©

JUDR でスレープ機に COM1 で接続します。

メニューからシステム - UDR フォルダリストを選びます。 同様に、削除アイコンを使い、すべてのフォルダを削除します。

JUDR でマスター機に COM15 で接続します。 メニューからシステム - UDR フォルダリストを選びます。 新規作成アイコンでフォルダを作成します。マスター機、スレーブ機の両方にフォルダが作成されます。これで同期したフォル ダが作成できました。



IUDR (Mult/Control)	A A B A A A A A A	and a company of the	
ファイル(F) ウインドウ(W)	へいづ(H)		
15:COM - Ethem システム(S) ツール	et(172,29.04.61) (T) ファイルレVO(F)		*
UD			
C EE REW	UDRフォルタ焼け 名庁(A) 表示(A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A)		
UDRウォルチを 形式 画像サイズ 種類 裕定 フレーム3次 フレーム3次 フレーム3次 ビデオファーマット すくり 適合 ウイトル	- <u>UDRフォルズの</u> 新設作成(N) 林- 水- 280 第5 977	COMER WHE \$45	
	図リストで通信されたときにUDRフォルダを開く	042404	HICO .
e .			
UDR Open [Ethernet]			

6.4.6 画像のロード

画像のロードはマスター機、スレーブ機のそれぞれ個別に行う必要があります。

JUDR からマスター機こ COM1 で接続します。 メニューからファイル - 画像ファイルのロード(アップロード)を選択します。 画像ファイルを選択して、フォルダを指定してアップロードを行います。

JUDR からスレーブ機こ COM1 で接続します。 メニューからファイル - 画像ファイルのロード(アップロード)を選択します。 画像ファイルを選択して、フォルダを指定してアップロードを行います。

6.4.7 映像の再生

JUDR でマスター機こCOM15 で接続します。 UDR フォルダをオープンします。マスター機、スレーブ機の両方で UDR フォルダがオープンされます。

ビデオフォーマットを設定します。 リファレンス入力は AUTO または REFIN に設定します。 マスター機、スレーブ機の両方に ビデオフォーマットが設定されます。

すべての UDR-N50A/N60 でゲンロックがロックしていることを確認してください。(前パネルの表示で REFIN:SHRA となって いれば OK です。)

PLAY ボタンを押して、再生を開始します。



7 SDI 設定

UDR-N50A は設定により、HD-SDI と 3G-SDI を切り替えることができます。 UDR-N60 では、設定により、HD-SDI と 3G-SDI、12G-SDI を切り替えることができます。

7.1 設定

SDI Mode 設定パネルで、HD-SDI/3G-SDI/12G-SDI の設定を行います。 ホーム画面でMENU スイッチを押し、メインメニューを表示します。 VIDEO -> SDI MODE の順番にタッチします。

MENU MAIN MENU Back FOLDER VIDEO TIMECODE **AUDIO** SETUP SYSTEM **PLAYBACK** MENU>VIDEO **VIDEO MENU** Back **INPUT** VIDEO FORMAT OUTPUT MONITOR SDI MODE





- 3G-SDI (Level-A priority) 3G-SDI (Level-B priority) 12G-SDI
- : 3G-SDI Level-B で動作します。
- : 12G-SDI で動作します。

Set をタッチして、確定します。



7.2 代表的な出力例

3G-SDIを使うと、HD-SDI2本(デュアルリンク)を、3G-SDI1本にまとめることができます。 12G-SDIを使うと、3G-SDIを12G-SDI1本にまとめることができます。 ビデオフォーマットとフォルダタイプ、チャネル数の組み合わせにより、どのようにチャネルを割り当てるか決定されます。

	HD-SDI	3G-SDI	3G-SDI	12G-SDI
		Level-A Pri.	Level-B Pri.	
ビデオフォーマット: 1080/59.94p フォルダタイプ: 4:2:2/10-bit チャネル数:1	A+B デュア ルリンク	A	A (Dual-Link Progressive)	
ビデオフォーマット: 1080/59.94i フォルダタイプ: 4:4:4/10-bit チャネル数:1	A+B デュア ルリンク	A	A (Dual-Link RGB)	
ビデオフォーマット: 1080/59.94i フォルダタイプ: 4:2:2/10-bit チャネル数:2	A,B 2 チャネル		A (Dual- Stream)	
ビデオフォーマット: 1080/59.94i フォルダタイプ: 4:2:2/10-bit チャネル数:4	A,B,C,D 4 チャネル		A, B 2 チャネル (Dual-Stream)	
ビデオフォーマット: 1080/59.94p フォルダタイプ: 4:2:2/10-bit チャネル数:4		A,B,C,D 4 チャネル	A,B,C,D 4 チャネル (Dual-Link Progressive)	A

詳細は巻末の表 (11. 参考資料) を参照ください。



8 HDMI 設定

UDR-N50A/N60のHDMI出力は、FHDと4Kの切り替えが可能です。 UDR-N50A/N60が出力可能な4Kビデオタイミングを以下に示します。

3840 × 2160 (RGB 8-bit) 23.97p / 24p / 29.97p / 30p 4096×2160 (RGB 8-bit) 23.97p / 24p

※注意

- 上記以外のビデオタイミングを出力しようとした場合、N50A/N60のHDMI出力は自動的にFHD出力に切り替わります。
- UDR-N50は4K HDMI 出力には対応しておりません。

8.1 設定

パラメータ設定の「381:HDMI_OUTPUT」でFHD/4Kの設定を行います。 ホーム画面でMENUスイッチを押し、メインメニューを表示します。 VIDEO -> OUTPUTの順番にタッチします。

MENU

	MAIN MENU	Back
FOLDER	VIDEO	
TIMECODE	AUDIO	
SETUP	SYSTEM	PLAYBACK







PageDown をタッチし 「HDMI output selection」を表示させます。





「HDMI output selection」をタッチして、選択画面を表示します。



 HD
 : HDMI 出力は FHD モードで動作します。

 4K2K
 : HDMI 出力は 4K-HDMI モードで動作します。

 Set をタッチして、確定します。

※注意

• ビデオ形式によっては、4K2K 設定時でも N50A の HDIM 出力は自動的に FHD モードに切り替わります。



8.2 4K2K 出力が可能なビデオタイミング

ビデオ画角 / 画素	フレーム周波数
3840x2160 RGB 8-bit	23.97p / 24p / 29.97p / 30p
4096x2160 RGB 8-bit	23.97p / 24p

※注意

上記以外のビデオタイミングを出力しようとした場合、UDR-N50A/N60のHDIM出力は自動的にFHD出力に切り替わります。



9 記録/再生

9.1 記録のための準備と記録操作

映像を記録するには、ビデオメディアに「フォルダ」を作る必要があります。 ここでは本体のメニュー画面でフォルダを作り、映像を記録する方法を説明します。

9.1.1 フォルダの作成

ホーム画面でメニュースイッチを押し、メインメニューを表示します。





「FOLDER」をタッチして、フォルダメニューに移動します。

MENU>FOLDER				
		Folde	r menu	
				Back
	SELECT		CREATE	
	RENAME			



「CREATE」をタッチして、フォルダクリエイト画面に移動します。 「Next」をタッチして、次の画面に移動します。

MENU>FOLDER>C	REATE	
	Folder create wizard.	
		Back
		Next

フォーマット選択画面になります。リストのなかから目的のフォーマットを選択します。 「Next」を押して、次の画面に移動します。

MENU>FOLDER>CREATE>FORMAT					
		Folder format select			
				Back	
	PageUp	76:1920x1080/59.94PsF 10bit 4:2:2			
	Up	77:1920x1080/59.94PsF 8bits 4:2:2			
		78:1920x1080/59.94i 10bit 4:2:2			
	Down	79:1920x1080/59.94i 10bit 4:4:4			
P	ageDown	80:1920x1080/59.94i 12bit 4:2:2			
				Next	

リールセットアップかテープセットアップを選択します。 「Next」を押して、次の画面に移動します。

MENU>FOLDER>	MENU>FOLDER>CREATE>REEL					
		Folder setup select.				
				Back		
	PageUp	Reel setup				
	Up	Tape setup				
	Down					
	PageDown					
				Next		



記録するチャネル数を選択します。

「Next」を押して、次の画面に移動します。

	Folder channel select.	4
	52	Back
PageUp	1 channel	
Up:	2 channels	
	3 channels	
Down	4 channels	
PageDown		
3. 9 //		Next

記録時間を入力します。

「Up」、「Down」で数値を入力します。

数値の入力が済んだら、「Next」を押して、次の画面に移動します。

MENU>FOLDER>CREATE>LENGTH					
	Folder length.				
		Back			
	5[min]				
	min : 0[min] max : 12[min]				
	Up				
	Down				
		Next			

フォルダ作成の確認画面になります。

この設定でフォルダを作成して良い場合は、「Create」をタッチしてフォルダを作成します。





9.1.2 記録するフォルダの決定

メインメニューから「FOLDER」→「SELCT」を選び、フォルダ選択画面に移動します。 リストのなかから、記録に使用するフォルダを選択します。

MENU>FOLDEF	IENU>FOLDER>SELECT					
		FOLDER SELECT				
			Γ	Back		
	PageUp	TAPE001	L			
	Up	TAPE002				
		TAPE003				
	Down	TAPE004				
	PageDown	REEL001				

フォルダオープン画面で「Set」をタッチして、フォルダをオープンします。

MENU>FOLDER>SELECT>OPEN				
		Folder open		
Name : TAPE001				Back
Description : Created	d on 2012/02/17 13:01	1:56		
Reel : 0	Pixels : 1920	Lines1 : 540	Lines2 : 540	
Scan mode : 2	Bit depth : 10	Data type : 0	Frame rate : 29970	
Color space : 2	Channels : 1	Frames : 18001	Time length : 00:10:00	
Format name : 1920	×1080/59.94i 10bit 4:2	2: Format type : A192	0X1080I10B	
Default video : 1080/59.94i				
				Set



9.1.3 ビデオフォーマットの設定

フォルダをオープンすると、デフォルトのビデオフォーマットか設定されます。 もし、デフォルト以外のビデオフォーマットを使用したい場合、メインメニューから「VIDEO」→「VIDEO FORMAT」を選び、 ビデオフォーマット設定画面に移動します。

リストのなかから、使用したいビデオフォーマットを選択します。

MENU>VIDEO>	MENU>VIDEO>VIDEO FORMAT					
		Video format select				
				Back		
	PageUp	1080/60.00i				
	Up	1080/59.94i				
		1080/50.00i				
	Down	1080/30.00p				
	PageDown	1080/29.97p				

ビデオフォーマット設定画面になるので、「Set」をタッチして、ビデオフォーマットを設定します。

MENU>VIDEO>VIDEO FORMAT>SETTING	
Video forma	it setting
Name : 1080/59.94i	Back
Frame rate : 29970	
Clock : 74175824	
Scan mode : 2	
Links : 1	
Pixels : 1920	
Lines (1) : 540	
Lines (2) : 540	
	Set



9.1.4 記録する

停止スイッチ

メニュースイッチを押して、ホーム画面に切り替えます。 入力ステータスを見て、ビデオ信号が入力されていることを確認します。



を押すか、フォルダの終点まで行くと、記録が停止します。



9.2 再生のための準備と再生操作

映像を再生するには、ビデオメディアの「フォルダ」をオープンする必要があります。 ここでは、本体のメニュー画面でフォルダをオープンし、再生する方法を説明します。

9.2.1 フォルダの選択

メインメニューから「FOLDER」→「SELCT」を選び、フォルダ選択画面に移動します。 リストのなかから、記録に使用するフォルダを選択します。

MENU>FOLDEF	MENU>FOLDER>SELECT					
		FOLDER SELECT				
				Back		
	PageUp	TAPE001				
	Up	TAPE002				
		TAPE003				
	Down	TAPE004				
	PageDown	REEL001				

フォルダオープン画面で「Set」をタッチして、フォルダをオープンします。

MENU>FOLDER>SELECT>OPEN					
		Folder open			
Name : TAPE001				Back	
Description : Creat	ed on 2012/02/17 13	01:56			
Reel : 0	Pixels : 1920	Lines1 : 540	Lines2 : 540		
Scan mode : 2	Bit depth : 10	Data type : 0	Frame rate : 29970		
Color space : 2	Channels : 1	Frames : 18001	Time length : 00:10:00		
Format name : 192	20×1080/59.94i 10bit	4:2: Format type : A19:	20X1080 10B		
Default video : 1080/59.94i					
				Set	



9.2.2 ビデオフォーマットの設定

フォルダをオープンすると、デフォルトのビデオフォーマットが設定されます。

もし、デフォルト以外のビデオフォーマットを使用したい場合、メインメニューから「VIDEO」→「VIDEO FORMAT」を選び、 ビデオフォーマット設定画面に移動します。

リストのなかから、使用したいビデオフォーマットを選択します。

MENU>VIDEO>	VENU>VIDEO>VIDEO FORMAT					
		Video format select				
			Back			
	PageUp	1080/60.00i				
	Up	1080/59.94i				
		1080/50.00i				
	Down	1080/30.00p				
	PageDown	1080/29.97p				

ビデオフォーマット設定画面になるので、「Set」をタッチして、ビデオフォーマットを設定します。

MENU>VIDEO>VIDEO FORMAT>SETTING	
Video form	nat setting
Name : 1080/59.94i	Back
Frame rate : 29970	
Clock : 74175824	
Scan mode : 2	
Links : 1	
Pixels : 1920	
Lines (1) : 540	
Lines (2) : 540	
	Set



9.2.3 再生する

メニュースイッチを押して、ホーム画面に切り替えます。





ディスクレコーダならではのレスポンスをお楽しみください。



9.3 テイクモード

9.3.1 概要

本装置では、収録を「テイク」と呼ぶ単位で管理できる、テイクモードを持っています。 テイクモードを使うことで、フィルムリールのように撮影を行うことができます。

9.3.2 収録・再生

「テイクモード」を使用するときは、フォルダを「リールセットアップ」で作成する必要があります。

MENU>FOLDER>CREATE>REEL					
		Folder setup select.			
					Back
	PageUp	Reel setup	D)	
	Up	Tape setup		リールセットア 選択します	ップを
	Down		1		
	PageDown				
					Next



「リールセットアップ」で作成したフォルダをオープンします。

まだ、テイクが存在しないため、テイク情報には「NO ANY TAKE」と表示されます。



収録を行います。

1 つテイクができます。

















9.3.3 テイクの削除

テイクの削除を行います。

※注意

現在のファームウェアでは、タッチパネルからのテイクの削除はできません。
 PC と接続して、JUDR から操作してください。


9.4 ループ再生

In/OUT 点指定ループ再生を行います。

IN/OUT 点およびフォルダ番号を記憶し、次回利用できます。

UDR-N50A/N60 のファームウェアバージョン 4.4.1 以降で、ループ再生ができます。 起動時の自動再生設定も行えます。







9.4.2 In/Out 点

In 点 set ボタンを押すと再生中のフレーム番号とタイムコードが In 点になります。 In 点 jump ボタンを押すと In 点に移動し静止画表示になります。 Out 点も同様です。

	MENU>PLAY->LOOP					
	Save setting	O Auto run	O Norr	nal		Back
(in:	10:00:01;08	38	jump	set	
	out:	10:00:04;21	141	jump	set	
	Set folder:	5				
	In/Out Play	10:00:0	0;00	5: building_29p 0	In/Out	t Loop

表示中の In/Out 点と保持されている値が異なるとフレーム番号背景色を変えます。

MENU>PLAY->LOOP				
	Lc			
Save setting	🔵 Auto run	Norr	Back	
in:	10:00:01;08	38	jump	set
out:	10:00:05;05	155	jump	set
Set folder:	5			
In/Out Play	10:00:0	5;05	5: building_29p 155	In/Out Loop

後述の保存操作で背景色は戻ります。



9.4.3 UDR フォルダ

画面が選択された時に UDR フォルダがオープンされていない場合は保持しているフォルダ番号でオープンします。

MENU>PLAY->LOOP							
	Lo	Loop play					
Save setting	🔵 Auto run	Nori	nal		Back		
in:	10:00:01;08	38	jump	set			
out	10:00:04;21	141	jump	set			
Set folder:	5						
In/Out Play	10:00:0	0;00	5: building_29p 0	In/Out	t Loop		

既に再生中の UDR フォルダ番号が保持していたものと異なる場合フォルダ番号背景色を変えます。

MENU>PLAY->LOOP							
	Loop play						
Save setting	🔵 Auto run	Norr	mal		Back		
in:	10:00:01;08	38	jump	set]		
out·	10:00.05;05	122	jump	set			
Set folder:	5 Current	folder is	not sam	ne (#1)		ン	
In/Out Play	10:00:0	00;00	1: building_59p 0	In/Ou	t Loop		

Set ボタンを押すと保持していた UDR フォルダで再オープンされ背景色は戻ります。



9.4.4 In/Out 点再生

In/Out Play ボタンを押すと1回再生され Out 点で停止します。

Loop play							
Save setting	🔵 Auto run	Nor	mal		Back		
in:	10:00:01;08	38	jump	set			
out:	10:00:04;21	141	jump	set			
Set folder:	5						
In/Out Play	10:00:0	0;00	5: building_29p	In/Ou	t Loop		

9.4.5 In/Out 点ループ再生

In/Out Loop ボタンを押すとループ再生します。

MENU>PLAY->LOOP							
	Loop play						
Save setting	🔵 Auto run	🔵 Auto run 💽 Normal			Back		
in:	10:00:01;08	38	jump	set			
out:	10:00:04;21	141	jump	set			
Set folder:	5						
In/Out Play	10:00:0	0;00	5: building_29; 0	° (In/Out	t Loop		

ループ再生の停止は本体の STOP ボタンをご利用ください。



9.4.6 In/Out 点と UDR フォルダ番号保存

Save setting ボタンを押すと 画面表示中の In/Out 点と現在オープンされているフォルダ番号が保存されます。

MENU>PLAY->LOOP					
	Lc	oop play			
Save setting	🕥 Auto run 💿 Normal				Back
in:	10:00:01;08	38	jump	set	
out:	10:00:05;05	155	jump	set	
Set folder:	5				
				ŕ	
In/Out Play	10:00:0	5;05	155 500 110 129 155	In/Out	Loop

MENU>PLAY->LOOP							
	Loop play						
Save setting	Auto run	Norr	mal		Back		
in:	10:00:01;08	38	jump	set			
out:	10:00:05;05	155	jump	set			
Set folder:	5 Current	folder is	not sam	e (#1)			
In/Out Play	10:00:0	0;00	1: building_59p	In/Out	Loop		



保存の可否を確認のため Ok ボタンを押します。

MENU>PLAY->LOOP							
	Loop play						
Save setting	🔵 Auto run	Nor	mal		Back		
in:	10:00:20;00	600	jump	set			
out:	10:00:23;28	718	jump	set			
Set folder:	0 Save cu	rrent fol	der & in/	out poi	int?		
	Ok	ancel					
In/Out Play	10:00:2	3;28	0: building 718	In/Out	t Loop		

保存成功で次の例のメッセージが表示されます。

MENU>PLAY->LOOP						
	Lc	oop play				
Save setting	🔵 Auto run	to run 🔵 Normal			Back	
in:	10:00:20;00	600	jump	set		
out:	10:00:23;28	718	jump	set		
Set folder:	0 loop parameter save successed.					
In/Out Play	10:00:2	3;28	0: building 718	In/Out	Loop	



9.4.7 autoexec ファイル作成

UDR-N50A/N60 では起動時に自動で再生を開始するための機構があります。 autoexec ファイルが所定の場所に格納されるとこの再生スクリプトが起動時に実行されます。 Auto run トグル SW をオンにした後に Save setting ボタンを押し 画面下に追加表示された Ok ボタンを押すと この画面のループ再生要求がスクリプトになった autoexec.ファイルが作成されます。

MENU>PLAY->LOOP							
	Loop play						
Save setting	🔵 Auto run	Norr	mal		Back		
in:	10:00:20;00	600	jump	set			
out:	10:00:23;28	718	jump	set			
Set folder:	0						
In/Out Play	10:00:2	3;28	0: building 718	In/Out	Loop		

autoexec ファイル作成成功で次の例の画面になります。

MENU>PLAY->LOOP					
	Loop play				
Save setting	Auto run	O Nori	mal	ļ	Back
in:	10:00:20;00	600	jump	set	
out:	10:00:23;28	718	jump	set	
Set folder:	0 Create a	autoexed	:?		
	Ok	Cancel			
In/Out Play	10:00:1	0;00	0: building 600	In/Ou	t Loop



MENU>PLAY->LOOP					
	Lo	oop play			
Save setting	Auto run	O Nor	mal		Back
in:	10:00:20;00	600	jump	set	
out:	10:00:23;28	718	jump	set	
Set folder:	0 Cautoexe	ec save s	uccesse	d.	
In/Out Play	10:00:1	.0;00	0: building	In/Ou	t Loop

次回の起動で自動的にループ再生します。

ループ再生の停止は本体の STOP ボタンをご利用ください。

9.4.8 autoexec ファイル削除

ループ画面で既に auto run を指定し autoexec ファイルが存在する場合は次の画面になります。

MENU>PLAY->LOOP						
	Loop play					
Save setting	Auto run	O Norr	mal	Back		
in:	10:00:20;00	600	jump	set		
out:	10:00:23;28	718	jump	set		
Set folder:	0					
In/Out Play	10:00:2	3;28	0: building 718	In/Out Loop		

Normal を選択すると Save setting ボタン背景色が変わります。



MENU>PLAY->LOOP					
	Lc	oop play			
Save setting	Auto run	Nori	mal	[Back
in:	10:00:20;00	600	jump	set	
out:	10:00:23;28	718	jump	set	
Set folder:	0				
In/Out Play	10:00:2	3;28	0: building 718	In/Out	Loop

この状態で Save setting ボタンを押すと実行可否を決める Ok ボタンが表示されます。

MENU>PLAY->LOOP						
Loop play						
Save setting	Auto run	Norr	mal		Back	
in:	10:00:20;00	600	jump	set		
out:	10:00:23;28	718	jump	set		
Set folder:	0 Delete o	urrent a	utoexec	?		
	Ok	Cancel				
In/Out Play	10:00:1	0;00	0: building	In/Out	Loop	

Ok ボタンを押すと autoexec ファイルが消去され下記のメッセージが表示されます。



MENU>PLAY->LOOP					
Loop play					
Save setting	🔵 Auto run	Norr	mal		Back
in:	10:00:20;00	600	jump	set	
out:	10:00:23;28	718	jump	set	
Set folder:	0 Delete a	utoexec	success	ed.	
					20
In/Out Play	10:00:1	0;00	0: building 600	In/Out	t Loop



9.4.9 カスタム autoexec ファイル上書き 後述のスクリプトモードで作成の autoexec ファイルが存在する場合は次の例のメッセージが表示されます。 MENU>PLAY->LOOP Loop play 🔵 Auto run 📃 Normal Back Save setting 10:00:20;00 600 in: jump set 10:00:23;28 718 out: jump set Set folder: 0 Custom autoexec exists. 0: building 10:00:10;00 In/Out Play In/Out Loop 600

上記の状態で Save setting ボタンを押すとループ再生用の autoexec で上書きされます。

MENU>PLAY->LOOP						
Loop play						
Save setting	Auto run	O Norr	nal	Back		
in:	10:00:20;00	600	jump	set		
out:	10:00:23;28	718	jump	set		
Set folder:	0 Overwri	te custo	m autoex	ec?		
	Ok	Cancel				
In/Out Play	10:00:1	0;00	0: building	In/Out Loop		



9.5 スクリプト再生

UDR-N50A/N60本体内またはUSBメモリのスクリプトファイルを参照し次の機能を実行します。

- ・複数 UDR フォルダ、複数フォルダ領域の連続再生
- ・指定行以下の繰り返し実行
- ・GPIO入力信号を検出し再生開始

スクリプトファイルは USB メモリ経由で UDR-N50A/N60 本体に書き込めます。

UDR-N50AN60のファームウェアバージョン 4.4.1 以降で、スクリプト再生ができます。 起動時の自動再生設定も行えます。

9.5.1 モード指定

PLAYBACK モード選択画面への移動は HOME ページまたは MAIN メニュー画面の各 PLAYBACK ボタンを押します。





表示された PLAYBACK メニュー画面でスクリプトモードを選択します。

MENU>PLAY			
	Playbac	ck menu	
			Back
	SCRIPT	LOOP	

9.5.2 スクリプト実行

ー覧左のエリア移動ボタンで所要のスクリプトを表示します。 一覧からスクリプト名を選択し Start ボタンを押します。

MENU>PLAY>SCR	IPT		
		Script play	
Copy auto	PageUp (loopB.txt	Back
USB copy	Up	testA.txt	
Delete file	Down		
	PageDown		
Stop	10	:00:23;03	Start



スクリプトに繰り返し処理がある場合は実行中を検出し Stop ボタンの背景色を変化させます。

MENU>PLAY>SCRIPT	MENL	J>PL	_AY>	SCR	IPT
------------------	------	------	------	-----	-----

		Script play	
Copy auto	PageUp	loopB.txt	Back
USB copy	Up	testA.txt	
Delete file	Down		
	PageDown		
Stop	10	:00:21;18 building 648	Start

スクリプトの停止は Stop ボタンを押してください。

*UDR-N50A/N60 パネル下の ストップボタンで一時的に停止しますがスクリプト処理は続行します。

9.5.3 スクリプトファイルの作成

Windows メモ帳をご利用ください。

ファイル名のサフィックス部分は ".txt"のまま UDR-N50A/N60 に USB 経由で コピーしご利用いただけます。



9.5.4 スクリプトファイル格納場所

USB メモリ

(USB メモリルート) /udr-n50/udrscripts

上記フォルダにある拡張子 txt のファイルがスクリプトファイルとして認識されます。 USB メモリは <u>FAT16 または FAT32 でフォーマットされたもの</u>が利用いただけます。

● イーサーネット

(FTPルート) /user/scripts

上記フォルダにある拡張子 txt のファイルがスクリプトファイルとして認識されます。 起動時自動実行用の「autoexec」はこのディレクトリに配置されます。



9.5.5 USB メモリと UDR-N50A/N60 間のスクリプトファイル複写

USB メモリから UDR-N50A/N60 へ転送
 USB メモリ上の「/udr-n50/udrscripts」フォルダとその下にスクリプトファイルを入れた USB メモリを挿します。
 スクリプト画面に入り直すとファイルが一覧に表示されます。
 先頭に「usb:」と表示された USB メモリ内のファイルを選択し「USB copy」ボタンを押してください。

MENU>PLAY>SCRIPT

	Script play	
Copy auto	PageUp usb:testA.txt	Back
USB copy	Up usb:testB.txt	
Delete file	Down	
	PageDown	
Stop	10:00:02;18 building	Start

複写の成功で次の画面例のように一覧に追加表示されます。

MENU>PLAY>SCRIPT				
		Script play		
Copy auto	Pagelip	testA.txt		Back
USB copy	Up	usb:testA.txt		
Delete file	Down	usb:testB.txt		
	PageDown			
Copy successed.				
Stop	10	:00:02;18	g 78	Start

UDR-N50A/N60からUSBメモリへ転送
 先頭に「usb:」表示のないファイルを選択し USB copy ボタンを押してください。



9.5.6 autoexec ファイル生成

UDR-N50A/N60 では起動時に自動で再生を開始するための機構があります。 autoexec ファイルが所定の場所に格納されるとこの再生スクリプトが起動時に実行されます。 Copy auto ボタンを押した後に確認の Ok ボタンを押すと一覧より選択のスクリプトファイルを複写し autoexec ファイルを作成します。

MENU>PLAY>SCRIPT			
		Script play	
Copy auto	PageUp	testA.txt	Back
USB copy	Up	testB.txt	
Delete file	Down		
Ok	PageDown		
Cancel	Copy selected to autoexec.sh?		
Stop	10	:00:00;00 ^{building}	Start

autoexec 作成成功で次の例のメッセージが表示され、一覧にも追加されます。

MENU>PLAY>SCRIPT				
		Script play		
Copy auto	PageUp	autoexec.sh	Back	
USB copy	Up	testA.txt		
Delete file	Down	testB.txt		
	PageDown			
Copy successed.				
Stop	10	:00:00;00 ^{building}	Start	



9.5.7 ファイル削除

Delete file に続き Ok ボタンを押すとファイルの削除を行います。

MENU>PLAY>SCRIPT				
		Script play		
Copy auto	PageUp	testA.txt		Back
USB copy	Up	testB.txt		
Delete file	Down	testC.txt testD.txt		
Ok	PageDown			
Cancel	Delete	file ?		
Stop	10	:00:00;00) 0	Start

削除成功で次の例のメッセージが表示され、一覧からも削除されます。

MENU>PLAY>SCRIPT			
	Script play		
Copy auto	PageUp	testA.txt	Back
USB copy	Up	testB.txt	
Delete file	Down	testD.txt	
	PageDown		
Delete successed.			
Stop	10:00:00;00 building Start		

autoexec ファイルも同様に書協できます。



9.5.8 USB メモリスクリプト格納場所の作成

新しいUSBメモリを挿し、スクリプト画面に移動すると次の画面例のメッセージが表示されます。

MENU>PLAY>SCRIPT				
	_	Script play		
Copy auto	PageUp	testA.txt	Back	
USB copy	Up			
Delete file	Down			
	PageDown			
There is no udrscripts folder in the USB.				
Stop	10	:00:00;00	Start	

次の手順により格納フォルダを新規作成できます。

1. UDR-N50A/N60 本体にスクリプトファイルが存在している場合、本体上のスクリプトファイルを選択し「USB copy」を 押します。

		-
MENI	INDI	AVSCRIPT

MENO ZEAT ZOCHET				
	Script play			
Copy auto	PageUp	testA.txt		Back
USB copy	D Up			
Delete file	Down			
Ok	FageDown			
Cancel	Make u	drscript folder in	USB?	
Stop	10	:00:00;00	building 0	Start



Ok ボタンを押すと USB メモリに「/udr-n50/udrscripts/」フォルダが作成され指定スクリプトファイルもコピーされます。

|--|

MENU>PLAY>SCRIPT

		Script play		
Copy auto	PageUp	testA.txt	Back	
USB copy	Up	use:testA.txt		
Delete file	Down			
	PageDown			
Copy successed.				
Stop	10	:00:00;00 ^{building}	Start	

2. UDR-N50A/N60 本体にスクリプトファイルのない場合、ループモードで「auto run」指定 ON と保存をし、UDR-N50A/N60 本体に「autoexec.sh」を登録します。その後に前述の操作を行ってください。



9.5.9 7	スクリプトファイル構造と内容				
UDR-N50	A/N60の制御コマンドを複数行記述したテキス	トファイルです。			
先頭行					
	先頭文字が # で開始の 次の2モードがあ	りのます。			
	# v=<#>	# UDR-N50A/N60 x 1 台では常に 1 を指定します。			
		# 同期運転モード親機の場合は 15 を指定してください。			
	# <comment></comment>	# コメント行です。この場合 UDR-N50A/N60 x 1 台モードです。			
コメントィ					
先頭の文	字が"業"の2行目以降はコメント行です。				
ノアーム「					
	次のコマンドの利用できます。				
	SLEEP <msec#></msec#>	# 指定 msec 秒待ちます。			
	FCLOSE ALL	# 9へ(のオーノン済UDR ノオルタをクロースしま9。			
	FOPEN <volume#> <tolder#> </tolder#></volume#>	# 指定番号 UDR ノオルタをオーノンします。			
	<slot#> OPEN <volume#> <tolder#> </tolder#></volume#></slot#>	# 指定人口ット番号でUDR ノオルタをオーノンします。			
		#0-14 までの最大15 スロットが使えます。			
	STOP				
	PLAY	# 現在位置から再生します			
	PLAY <frame#></frame#>	# 指定フレーム番号にジャンプします。			
	PLAY <in#> <out#></out#></in#>	# In/out 点間を再生します。			
	PLAY <in#> <out#> L</out#></in#>	#In/out 点間をループ再生します。			
	PLAY <in#> <out#> W</out#></in#>	# In/out 点間再生指示を再生要求キューに入れます。			
	PLAY S<#>	# 指定スロット番号に再生要求を出します。			
	VFMT <videoformat\$></videoformat\$>	# ビデオフォーマットを指定します。			
		#msleep にてビデオ出力が安定するのを待つことが必要です。			
		# UDR-N50A/N60 はビデオフォーマット指定を保持します。			
		# このため切り替えのない場合、VFMT 行は不要です。			
スクリプ	~制御コマンド行				
	pwait	# 再生要求キューの空きを待ちます。			
	swait	# 再生停止を待ちます。			
	twait on off	#GPIOのpin3入力が指定レベルになるのを待ちます。			
	fwait <frame#></frame#>	# 指定フレーム番号での再生停止を待ちます。			
	msleep <msec#></msec#>	# 指定 msec 待ちます。			
	stop_on_exit	# 終了直前に STOP 要求を出します。			
	loopon	# 以降の行から最終行までを繰り返します。			
	q	# スクリプト終了コマンドです。			
		# ルーブ処理では指定しません。			
改行コー					
	行終端は CRLF または LF いずれも読み	しみ可能です。			
多言語文字コードの禁止					
	谷行は ASCII 文字のみで記述をお願いします。				
2byte コードのスペース文字など扱えません。					

ファイル名



9.5.10 スクリプト例1 (ループ再生)

v=1 # auto create file for loop params. #10:00:01;08 10:00:05;05 STOP FCLOSE ALL FOPEN 010 PLAY 38 155 L q ※ ループモードで作成の「autoexec」例です。

9.5.11 スクリプト例2 (複数 UDR フォルダ再生とその繰り返し)

#

STOP swait VFMT 1080/29.97p ← 必須な場合以外は記述しません SDI_MODE HD-SDI ← 同上 ← 同上 msleep 3000 FCLOSE ALL 0 FOPEN 0 4 1 FOPEN 0 5 2 FOPEN 0 6 # loopon # pwait PLAY -S0 0 1199 W # pwait PLAY -S1 0 1955 W # pwait PLAY -S2 0 399 W #

※ 3つの UDR フォルダ再生を繰り返します。



#

STOP swait

FCLOSE ALL FOPEN 0 5

#

loopon

#

twait on

msleep 200 twait off

PLAY 0 1199

msleep 1000

#

twait on

msleep 200

twait off

PLAY 3000 4999

msleep 1000

#

※ GPIO 入力 pin3 のレベルが ON から OFF になると2 種類の IN/OUT 再生要求を交互に出します。 1 秒以上待ってからの要求は再生途中でも受け付けますのでスキップ操作として利用できます。



9.5.13 繰り返しスクリプト実行検出

自動起動またはマニュアル操作にて繰り返し処理を含むスクリプトを実行中は、次のホーム画面例のように「PLAYBACK」のボタン色を変化させます。



スクリプト実行を停止しこの状態を解除するには「PLAYBACK」と次に表示される画面の「SCRIPT」を押し次の画面例の「Stop」を押してください。

MENU>PLAY>SCR	IPT		
		Script play	
Copy auto	PageUp	loopB.txt	Back
USB copy	Up	testA.txt	
Delete file	Down		
	PageDown		
Stop	210	:00:21;18 building 648	Start



10 UDR-N50A/N60 をご利用になる際の制限事項

10.1 DualLink で収録する場合について

10.1.1 概要

本セクションでは DualLink 時(HD-SDlx2 本で伝送する場合)の収録について記載します。 本注意事項をよくお読み頂き、正しく収録するようにしてください。

10.1.2 注意喚起

DualLink 信号は Link-A と Link-B で伝送データが異なります。 Link-A と Link-B を逆に接続した場合、正常な映像データとして収録できません。 正常な映像データとして収録できなかった場合、ファイル化した時に正しい映像が得られません。

10.1.3 対策

Link-A/Link-B が逆である場合、以下の方法で確認することができます。

DUALLINK で 4:4:4 を収録する場合

Link-A/Link-B を逆にした場合の LCD パネル映像/MON_OUT 出力映像

LCD パネルの映像MON_OUT 出力映像の色あいがおかしくなります。

● 確認方法

REC ボタンを押して THRU 出力にし、 LCD パネルの映像を見ます。

DUALLINK で 4:2:2 を収録する場合

Link-A/Link-B を逆にした場合の LCD パネル映像MON_OUT 出力映像
 LCD パネル表示MON_OUT では識別できません。
 ライン出力を DualLink 対応モニターで見たとき、上下にふれて見えます。

• 確認方法

収録した映像をコマ送り再生し、MON_OUT 出力映像が上下にふれていないかチェックします。 物理的に配線が間違っていないかチェックします。



DUALLINK のフォーマット設定と異なる場合(1080/59.94P 設定で 1080/50.00P 入力)

● Link-A/Link-B を逆にした場合の LCD パネル映像MON_OUT 出力映像 ブランク映像が出力されます。

LCD パネル右下に"Unmatched"表示されます。

● 確認方法

LCD パネル右下に"Unmatched"と表示されます。 収録自体ができないため、問題は発生しません。

DUALLINK のフォーマット設定と異なる場合(1080/59.94P 設定で 1080/59.94PSF 入力)

Link-ALink-B を逆にした場合の LCD パネル映像MON_OUT 出力映像
 LCD パネル表示MON_OUT では識別できません。
 ライン出力を DualLink 対応モニターで見たとき、上下にふれて見えます。

● 確認方法

収録した映像をコマ送り再生し、 MON_OUT出力映像が上下にふれていないかチェックします。 物理的に配線が間違っていないかチェックします。



11 参考資料

11.1 入出力チャンネルマッピング

※フォルダが8bitのときは、10-bitデータ形式として扱います。

11.1.1 映像チャンネル割り当て

UDR-N50/N60

SDI 端子に対する映像チャンネル番号割り当て(チャンネル番号: 0~7)

フナャン		SDI	SDI 端子			供老	
スキャノ) — yherv	MODE	А	В	С	D	通ら
		1.5G	0	1	2	3	
	4.2.2(10)	3G-A	×	×	×	×	
	4.2.2(10)	3G-B	0, 1	2,3	4, 5	6, 7	Dual-Stream
700n		12G-SDI	×	×	×	×	
720p		1.5G	×	×	×	×	
	4.4.4(10)	3G-A	0	1	2	3	
	4.4.4(10)	3G-B	×	×	×	×	
		12G-SDI	×	×	×	×	
	4:2:2(10)	1.5G	0	1	2	3	
		3G-A	×	×	×	×	
1080i		3G-B	0, 1	2,3	4, 5	6, 7	Dual-Stream
1080p		12G-SDI	×	×	×	×	
1080psf		1.5G	0	0	1	1	Dual-Link
(frate <= 30Hz)	4:4:4(10/12)	3G-A	0	1	2	3	
	4:2:2(12)	3G-B	0	1	2	3	Dual-Link
		12G-SDI	0*	×	×	×	対応予定
		1.5G	0	0	1	1	Dual-Link
1080p	1.2.2 (10)	3G-A	0	1	2	3	
(frate > 30Hz)	4.2.2 (10)	3G-B	0	1	2	3	Dual-Link
		12G-SDI	0	X	×	X	



11.1.2 SDI 端子割り当て

UDR-N50/N60

フォルダチャンネル数に対する SDI 端子の割り当て

7+ ->/		SDI	フォルダ	チャンネル	数(SUBCH+1))	/ # *
スキャン	テークルエ	MODE	1	2	4	8	1用合
		1.5G	А	A, B	A, B, C, D	Х	
	4-0-0(4.0)	3G-A	×	×	X	Х	
	4:2:2(10)	3G-B	Α'	А	A, B	A, B, C, D	Dual-Stream
7200		12G-SDI	×	×	X	X	
720p		1.5G	×	×	×	×	
	4.4.4(10)	3G-A	А	A, B	A, B, C, D	×	
	4.4.4(10)	3G-B	×	×	×	×	
		12G-SDI	×	×	×	×	
	4:2:2(10)	1.5G	А	A, B	A, B, C, D	×	
		3G-A	×	×	×	X	
1080i		3G-B	A'	А	A, B	A, B, C, D	Dual-Stream
1080p		12G-SDI	×	×	×	×	
1080psf		1.5G	AB	AB, CD	×	×	Dual-Link
(frate <= 30Hz)	4:4:4(10/12)	3G-A	А	A, B	A, B, C, D	×	
	4:2:2(12)	3G-B	А	A, B	A, B, C, D	×	Dual-Link
		12G-SDI	×	×	A*	X	対応予定
		1.5G	AB	AB, CD	X	×	Dual-Link
1080p	4.2.2 (10)	3G-A	А	A, B	A, B, C, D	×	
(frate > 30Hz)	4.2.2 (10)	3G-B	А	A, B	A, B, C, D	×	Dual-Link
		12G-SDI	X	X	А	X	



11.2 UDR-N50/N60 設定

11.2.1 概要

UDR-N50A/N60システムには動作を制御するパラメータが多数存在します。

操作手数を減らすために幾つかのパラメータについては Timecode、 Video、 Audio 画面でも操作可能になっています。

パラメータ設定機能はこれらのパラメータ値を設定、保存、復元する機能を提供します。

パラメータは通常の撮影作業で逐次編集する必要はありません。

撮影前に事前設定を行うのみで撮影することができます。

お気に入りの設定を保存しておきたい場合や、複数の UDR-N50A/N60 を運用する際にまとめて設定を実行したい場合などにご活用いただけます。

パラメータ設定画面(SETUP - PARAMETER)で再設定可能です。

全ての設定を確認したい場合には、以下の画面から確認が可能です。

 $\stackrel{\text{MENU}}{\rightarrow} \text{SETUP} \rightarrow \text{PARAMETER} \rightarrow \text{EDIT}$

11.2.2 機能

- パラメータ編集:パラメータの編集を実行します。
- 工場設定を復元 :パラメータ設定を初期値(工場出荷状態)に戻します。

11.2.3 設定と操作

メニュー画面から 「Setup」→ 「Parameter」を順に選択して、パラ メータの選択画面を表示します。

編集操作(EDIT)

パラメータの編集を実行します。



「EDIT」を選択すると、パラメータ編集画面が表示されます。

画面左側にはパラメータが表示されます。 「UP」「DOWN」を選択することで、表示パラメータを変更します。 画面右側には選択したパラメータに対する設定が表示されます。

変更するパラメータを選択します。 パラメータ選択は階層構造になっています。





Back

Settin

焈定

リスト選択型のパラメータは、リストのなかからパラメータを選択して、「Setting」をタッチすると、パラメータが設定されます。

数値入力型のパラメータは、「Up」と「Down」をタッチして数値を 入力します。 「Setting」をタッチすると、数値が設定されます

工場出荷時設定への復元(RESET)

パラメータ設定を初期値(工場出荷状態)に戻します。

max : 100

min : 0 def : 0 step : 1

Genuination and any ten		
Ter.	ameter menu	. E
		Bacx
Contract of Contract	Constant 1	
EDIT	RESET	

パラメータメニューで「Reset」を選択すると工場出荷時設定への復 元が実行されます。



11.3 UDR-N50/N60 設定一覧

11.3.1 101~199 TimeCode

MENU →SETUP→PARAMETER→EDIT→Time Code (全てのパラメータ)

No	名前	詳細	初期値	値	動作
101	Timer select	出力タイムコードの種	тс	TC	タイムコードを出力します。
		類を選択できます。		CTL	再生位置情報を元にしたカウンタを出
	TIMER_SEL				カします。
102	Timecode reader	タイムコードリーダー	LTC	LTC	LTC タイムコードを読み取って出力し
	select	の読み取る値を選択で			ます。
		きます。		VITC	VITC タイムコードを読み取って出力し
	TCR_SEL				ます。
121	TCG regen mode	タイムコードジェネレ	REGEN	PRESET	事前に設定した値をタイムコード値と
		ータの動作モードを選			して採用します。
	TCG_REGEN	択出来ます。		REGEN	TCG_SOURCE で指定された入力に同
					期してタイムコードを再生成します。
122	TCG preset DF	タイムコードジェネレ	NDF	DF	タイムコードジェネレータの生成する
		ータのドロップフレー			タイムコードにドロップフレームが組
	TCG_DF	ムモードを設定しま			み込まれます。
				NDF	タイムコードジェネレータの生成する
					タイムコードにドロッノノレーム力組
		EI の場合に、30 万ク			み込まれません。
		クトタイムコートの場合のみ右対です			
123	TCG source select	ロックロットラットラッ	int-LTC	int-LTC	
125		ータの画生成リースを			が上のキェンクロビロにキェ
	TCG SOURCE	選択出来ます。		int-\/ITC	現在の再生フレームングに位を示に再生
		TCG REGEN=REGE			成します。
		 Nの場合のみ有効で		ext-LTC	LTC 入力に入力されているタイムコー
		す。		0/11 21 0	ド値を元に再生成します。
				sdi-LTC	SDI-Aに入力しているHD-SDIのLTCパ
					ケット値を元に再生します。
				sdi-VITC	SDI-A に入力している HD-SDIの VITC
					パケット値を元に再生します。
124	TCG run mode	タイムコードジェネレ	FREE_R	FREERUN	タイムコードジェネレータの値が常に
		ータのカウンタを歩進	UN		歩進します。
	RUN_MODE	させるモードを選択で		RECRUN	タイムコードジェネレータの値が収録
		きます。			時のみ歩進します。
		TCG_REGEN=PRES			
		ET の場合のみ有効で			
		す。			
125	TCG preset UB	タイムコードジェネレ	0	数值	
		ータのユーザービット		(任意)	
	ICG_UB	値を設定できます。			
		TCG_REGEN=PRES			
		ET の場合のみ有効で			



		す。			
126	TCG preset UBF	タイムコードジェネレ	0	数値	
		ータのユーザービット		(任意)	
	TCG_UBF	フラグ値を設定できま			
		す。			
		TCG_REGEN=PRES			
		ET の場合のみ有効で			
		す。			
127	TCG UB external lock	タイムコードジェネレ	EXTLOC	UNLOCK	タイムコードジェネレータのユーザー
		ータのユーザービット	К		ビット値はLTC 入力にロックしません。
	TCG_UB_EXT	値をLTC 入力のもの		EXTLOCK	タイムコードジェネレータのユーザー
		にロックさせるかどう			ビット値はLTC 入力にロックします。
		かを選択出来ます。			

11.3.2 201~299 VideoInput



→SETUP→PARAMETER→EDIT→Video Input (全てのパラメータ)

No	名前	詳細	初期値	値	動作
202	Select 12 bits input	12-bit 入力を有効にす	AUTO	OFF	12-bit 入力は無効です。
		るかどうかを選択出来		ON	12-bit 入力は有効です。 4:2:2 の場合には
	IN_12BIT	ます。			2系統入力しないとREC出来ません。
				AUTO	選択されているフォルダに従って
					ON/OFF が自動的に切り替わります。
211	Rec start by input UB	Panasonic社の	OFF	OFF	REC 開始信号に同期しません。
	(varicam)	Varicam シリーズカメ		ON	REC 開始信号を受けたとき、自動的に
		ラから出力される			収録を開始します。REC 停止信号を受
	CAMERA_REC	REC 開始信号に同期			けると自動的に収録を停止します。
		し、収録を行うかどう			
		かを選択できます。			
		この機能は有償オプシ			
		ョンです。			
212	Camera rec. UB select	Panasonic 社の	LTC	LTC	LTCパケットの信号を元に収録開始停
		Varicam シリーズカメ			止を行います。
	CAMERA_REC_FLA	ラから出力される		VITC	VITC パケットの信号を元に収録開始/停
	G	REC 開始信号を選択			止を行います。
		できます。			
		CAMERA_REC=ON			
		の場合に有効です。			
221	Rec. mode	収録モードを選択出来	NORMAL	NORMAL	通常の収録モードです。入力信号の映像
		ます。			データを収録します。
	REC_MODE			VARIABLE	Panasonic 社の Varicam シリーズカメラ
					から出力されるバリアブルフレーム出
					カのうち、アクティブフレームのみ収録
					するモードです。
					この機能は有償オプションです。
230	Record start/stop	Sony社のSRW-1から	OFF	OFF	SRW-1 連動機能を使用しません。



	command SRW1	出力される REC コン		ON	SRW-1 連動機能を使用します。
	compatible)	トロール信号に同期			
	. ,	1, 収録を行うかどう			
		いた。そのでは、			
	SRVVI_REC	川を選択正来ま9。			
		現在未対応です。			
231	stop delay frames	REC 期間力終了後、撮	8	数値	フレーム時間
		り続けるフレーム数を		(1~8)	
	SRW1 STOP DELA	指定することができま		· · ·	
	r	9.			
		230 SRVV1_REC=ON			
		の時に有効です。			
		現在未対応です。			
240	Record start/stop	Canon 社の EOS	OFF	OFF	EOS C500 連動機能を使用しません。
	command (Canon	C500 カメラから出力		ON	EOS C500 連動機能を使用します。
	C500)	される REC コントロ			
	,				
		母な行うかどうかを躍			
	COULKEC	球でリングと思			
		沢出米ます。			
241	stop delay frames	REC 期間が終了後、撮	8	数値	フレーム時間
		り続けるフレーム数を		(1~8)	
	C500_STOP_DELAY	指定することができま			
		ਰ			
		240 C500 REC-ON			
251	Take number source	リールセットアップ	REEL	REEL	リール固有のテイク番号をインクリメ
*		時、収録したテイクに			ントして書き込みます。
	TAKE_NUMBER_SE	自動記録されるテイク		SYSTEM	システムで保持しているテイク番号を
	L	番号を選択できます。			インクリメントして書き込みます。
252	Next take number	システムのテイク番号	1	数値	
		です。リールヤットア		(1~9999)	
	SYSTEM TAKE NU	いつ時に収録されたテ		(1 111)	
		ノクに記録されるティ			
	IVIDER				
		ン省ちを指定してす			
		<u>व</u> ्			
		TAKE_NUMBER_SE			
		L=SYSTEM の場合の			
		み有効です。			
260	Ignore input CRC error	収録時、入力信号の	OFF	OFF	収録時に入力信号の CRC エラーを無視
	- · · · ·	CRC エラーを無視す			しません。
		ろかどうかを発現でき			- こうこう CRC Tラー友給出すスと記録動作友信
		しょうしょうのは一つのの			
	U C	よ9。		<u></u>	
				ON	収録時に人力信号の CRC エラーを無視
					します。
					CRC エラーを検出しても記録動作を停
					止しません。

11.3.3 301~399 VideoOutput

MENU -SETUP-F

→SETUP→PARAMETER→EDIT→Video Output

(全てのパラメータ)

No	名前	詳細	初期値	値	動作
302	Select 12 bits output	12-bit 出力を有効にする	AUTO	OFF	12-bit 出力は無効です。
		かどうかを選択出来ま		ON	12-bit 出力は有効です。4:2:2 の場合に
	OUT_12BIT	す。			は2系統入力しないと REC 出来ませ
					ho
				AUTO	選択されているフォルダに従って
					ON/OFF が自動的に切り替わります。
303	HD-SDI/3G-SDI	入出力する SDI の形式を	HD-SDI	HD-SDI	HD-SDI 信号で入出力を行います。
		切り替えることができま		3G-A_Pri	3G-SDI Level A 信号で入出力を行い
	SDI_MODE	す。			ます。
					1080/59.95i 10bit 4:2:2 など Level A
					での伝送ができないものについては3
					G-SDI Level B-DS が適用されます。
				3G-B_Pri	3G-SDI Level B-DL または 3G-SDI
					Level B-DS で入出力を行います。
				12G-SDI	12G-SDI 信号で入出力を行います。
					(A-ch のみ) (UDR-N60 のみ選択可)
304	Select 4K division	4K出力時に重畳するビ	Square	Square	重畳するビデオペイロードパケットが
		デオペイロードを切り替			Square Division 方式のものになりま
	4K_DIVISION	えることができます。			す。
				2Samplel	重畳するビデオペイロードパケットが
				nterleave	2 Sample Interleave Division 方式のも
					のになります。
					4K でない場合には伝送するビデオ信
					号に合わせたビデオペイロードが重畳
					されます。
305	Fixed Colorimetory	指定した色域情報をペイ	DISABLE	DISABLE	デフォルト動作です。
		ロードIDに重畳するか			※現在は REC709 と等価になります。
	FIXED_COLORIMET	どうかを切り替えます。		ENABLE	COLORIMETRY パラメータで指定し
	ORY				た色域に設定します。
306	Colorimetry Selection	ペイロードIDに重畳す	REC709	REC709	Rec.709
		る色域を指定します。		UHDTV	BT. 2020
	COLORIMETORY				
307	Fixed Dynamic Range	指定したダイナミックレ	DISABLE	DISABLE	デフォルト動作です。
		ンジ情報をペイロード			※現在は SDR-TV と等価になります。
	FIXED_DYNAMIC_R	IDに重畳するかどうか		ENABLE	DYNAMIC_RANGE パラメータで指定
	ANGE	を切り替えます。			したダイナミックレンジに設定しま
					す。
308	Dynamic Range	ペイロードIDに重畳す	SDR-TV	SDR-TV	SDR-TV
	Selection	るダイナミックレンジを			
		指定します。		HLG	HLG
	DYNAMIC_RANGE				
				PQ	PQ



309	12G-SDI Link	ペイロード ID に重畳す	Link-1	Link-1	Link-1 を割り当てます。
	assignment	る12G-SDI リンク割り		Link-2	Link-2 を割り当てます。
		当てを指定します。		Link-3	Link-3を割り当てます。
	12G_SDI_LINK	(UDR-N60 のみ)		Link-4	Link-4 を割り当てます。
310	12G-SDI Link Mode	ペイロード ID の Byte 1	TYPE1-Si	TYPE1-Si	ペイロード ID の Byte 1 に 0xCE
		に重畳する12G-SDIリ	ngle-link	ngle-link	(TYPE1-Single-link)を重畳します。
	12G_SDI_LINK_MOD	ンクモードを指定しま		TYPE1-D	ペイロード ID の Byte 1 に 0xD0
	E	す。		ual-link	(TYPE1-Dual-link)を重畳します。
		(UDR-N60 のみ)		TYPE1-Q	ペイロード ID の Byte 1 に 0xD2
				uad-link	(TYPE1-Quad-link)を重畳します。
311	Output reference	出カリファレンス信号を	AUTO	AUTO	出力リファレンス信号が自動選択され
	signal	選択出来ます。			ます。
				EXT	AUX コネクタに入力された同期信号
	REF_SEL				にロックします。
				INP-A	SDI-A 入力信号に同期します。
				INP-B	SDI-B 入力信号に同期します。
				INTERNA	内部同期で出力します。
				L	
312	Select external	AUX コネクタ入力同期	HD	HD	3値同期信号入力であることを指定し
	reference	信号を選択します。			ます。
		REF_SEL=EXTの場合		SD	2値アナログ同期信号入力であること
	EXT_REF_SEL	のみ有効です。			を指定します。
313	H-PHASE [clk#]	出カリファレンス信号に	0	数値	ピクセル単位
	clock	対する位相調整を行う事		(0~1H)	
		が出来ます。			
	H_SYNC_PHASE				
314	H-PHASE [delay#] -	出力リファレンス信号に	0	数値	約 105[psec]単位
	sub-pixel adjust	対する位相調整を行う事			
		が出来ます。			
	H_FINE				
315	V-PHASE [line#] – line	出力リファレンス信号に	0	数値	ライン単位
		対する位相調整を行う事		(0~V)	
	V_SYNC_PHASE	が出来ます。			
321	Playback freeze mode	インタレース形式時の停	FRAME	FIELD	フレームの1stフィールドを出力しま
		止時出力方法を選択出来			す。
	FREEZE_MODE	ます。			2nd フィールドには1st フィールドを
					ラインタブリンクで出力します。
				FRAME	フレームの1stフィールドとフレーム
	-				2nd フィールドを交互に出力します。
351	Output signal format	D-21 ARRIRAW T-Link	THRU	THRU	ARRIRAW出力を行います。
		時の出力力法を選択出米			
	MON_SIG_FORMAT	ま9。		100	レユー用の映家の出力されません。
		旧左上立地にです		4:2:2	
250			omete 074	omoto 074	
352	select	ネル表示用のマトリクス	smptez/4	smptez/4	SIVIPTE-2/4 況俗に促つに4:4:4->4:2:2 変換係数を適用します。



354	MON_SIG_MAT OLUT1 load MON_SIG_LUT	係数を選択出来ます。 映像ソースが4:4:4 デー 夕の場合のみ有効です。 現在未対応です。 MON OUT 及びLCD パ ネル表示に適用するルッ クアップテーブル(LUT) を選択出来ます。 現在未対応です。	Default	arri/mon_ extend Default 任意の LUT	ARRIFLEX D-21 で ARRIRAW T-Link を使用したときのモニター出力用のマ トリクス変換係数です。 何も変換を行わないLUT 係数です。 インポートした LUT ファイルを設定 することができます。 LUT のインポート機能は Firmware Release.1.3 以降で利用できます。
360	MON_OUTPUT_MO DE	2ch 収録時、MON_OUT 出力へ特殊な効果をかけ て出力するかどうかを設 定できます。	NORMAL	NORMAL	MON_OUT は Ach または Bch 出力の どちらかになります。 361 MON_OUTPUT_CHANNEL で選 択できます。
		現在未対応です。		SIDE_BY _SIDE	MON_OUT 出力は中央で左右分割され、Ach 映像が左側、Bch 映像が右側に表示されます。 (サイドバイサイド出力)
				ANAGLY PH	MON_OUT 出力は Ach を赤、Bch を 青に割り当てたアナグリフ映像出力に なります。
				AB-WIPE	MON_OUT 出力は指定位置で水平方 向に分割し、左側に Ach 映像、右側に Bch 映像を割り当てた表示になりま す。 (ワイプ出力) ワイプ位置は 363 AB_WIPE_POS パ ラメータで変更できます。 ワイプ境界線の有無は 364 AB_WIPE_BOUNDARY で変更できま す。
361	Output channel for	2ch 収録時に MON OUT	1CH	1CH	OUT-A のデータを出力します。
	MON OUT MON_OUTPUT_CHA NNEL	及びLCD パネルに表示 する出力チャンネルを選 択出来ます。 360 MON_OUTPUT_MODE がNORMAL 時のみ有効 です。 現在未対応です。		2CH	OUT-B のデータを出力します。
381	HDMI_OUTPUT	HDMI コネクタの出力形 式を選択することができ ます。	HD	HD	HD フォーマットで出力されます。 フォルダが4K データの場合にはダウ ンコンバートされた映像が出力されま す。



				4K2K	HDMI 1.4aの4K2K 出力が可能な場合
					に限り、HDMI コネクタから 4K2K フ
					ォーマットで出力されます。
					それ以外の場合には HD フォーマット
					で出力されます。
382	HDMI_OUTPUT_RA	HDMI 出力のカラーレン	Full	Full	フルレンジ(0-255)で出力されます。
	NGE	ジを選択することが出来		Limited	リミテッドレンジ(16-235)で出力され
		ます。			ます。


11.3.4 401~499 Audio

MENU →SETUP→PARAMETER→EDIT→Audio Control (全てのパラメータ)

No	名前	詳細	初期値	値	動作
402	Audio monitor select	ヘッドホン出力する音	CH1/2	CH1/2	1/2chの音声をヘッドホン出力します。
		声チャンネルを選択出		CH3/4	3/4chの音声をヘッドホン出力します。
	AUDIO_MONITOR_S	来ます。		CH5/6	5/6ch の音声をヘッドホン出力します。
	EL			CH7/8	7/8chの音声をヘッドホン出力します。
403	Level meter peak hold	オーディオレベルメー	0.5	数値	
	time [sec]	ターのピークホールド		(0.25~2.0)	
		時間			
	PEAK_HOLD	ਰ.			
411	Audio input source	オーディオ入力	AES	AES	オーディオ入力として AES 入力を使用
	select				
				SDI	オーディオ人力としてエンベデットオ
	AUDIO_SEL			OUIOTONA	ーティオを使用します。
				CUSTOM	オーティオ人力を2ナヤジイルことに設
440					
412	select	カーティオハカ 1/201 のノーフを選択しま	AES	AES	オーティオスパリとして AES パリを使用
	SCICCI	す			しなり。 オーディオネカとし <u>イエン</u> がデットオ
	AUDIO SEL1 2	AUDIO SEL=CUSTO		001	ーディオを使用します
		M時にのみ有効です。			
413	Audio input source	オーディオ入力 3/4ch	AES	AES	オーディオ入力として AES 入力を使用
	select	のソースを選択しま			します。
		す。		SDI	オーディオ入力としてエンベデットオ
	AUDIO_SEL3_4	AUDIO_SEL=CUSTO			ーディオを使用します。
		M時にのみ有効です。			
414	Audio input source	オーディオ入力 5/6ch	AES	AES	オーディオ入力として AES 入力を使用
	select	のソースを選択しま			します。
		ਰ.		SDI	オーディオ入力としてエンベデットオ
	AUDIO_SEL5_6				ーディオを使用します。
445		M時にのが有効です。	450	450	
415	select	カーティオハカ 1/601 の ノーフを選択しま	AES	AES	オーティオハリこして AES ハリを使用
	うらにし	d AGRICA			しひょ。 オーディオスカとし アエンバデットオ
	AUDIO SEL7 8	AUDIO SEI =CUSTO		ועט	- ディオケ体田します
		M時にのみ有効です。			
416	Audio input source	オーディオ入力	AES	AES	オーディオ入力として AES 入力を使用
	select	9/10chのソースを選			します。



				SDI	オーディオ入力としてエンベデットオ ーディオを使用します。
417	Audio input source select	オーディオ入力 11/12ch のソースを選	AES	AES	オーディオ入力として AES 入力を使用 します。
	AUDIO_SEL11_12	11/12ch のソースを選 択します。 AUDIO_SEL=CUSTO M時にのみ有効です。 UDR-N50A/N60での 音声は8chまでです。 この設定は無視されま		SDI	オーディオ入力としてエンベデットオーディオを使用します。
431	Audio play offset time[ms] AUDIO_OFFSET_DE LAY	再生時、ビデオに対す るオーディオの遅延 [msec]を設定出来ま す。	0	数値	ミリ秒



11.3.5 501~599 System Protection

→SETUP→PARAMETER→EDIT→System Protection (全てのパラメータ)

該当項目はありません。

MENU



11.3.6 601~699 Remote I/F

MENU →SETUP→PARAMETER→EDIT→Remote (全てのパラメータ)

No	名前	詳細	初期値	値	動作
601	RS422 device mode	RS-422 9pin プロトコ	Local	Local	9pin プロトコルによる制御を無効にし
		ルによる制御の			ます。
	RS422_MODE	ON/OFF を選択できま		Remote	9pin プロトコルによる制御を有効にし
		す。			ます。
602	RS422 device	エミュレートするデバ	SONY_H	SONY_HD	SONY製HDW-500をエミュレートしま
		イスタイプを選択でき	DW-500	W-500	す。
	RS422_DEVICE	ます。		SONY_HD	SONY製HDW-250をエミュレートしま
				W_250	す。
603	Speed of CUEUP	指定点へのキューアッ	20	数値	単位倍速
		プ速度を設定出来ま			
	SPEED_CUEUP	す。			
604	Speed of FWD	高速再生時の再生速度	20	数値	単位倍速
		を指定できます。			
	SPEED_FWD				
605	Speed of REW	高速逆再生時の再生速	20	数値	単位倍速
		度を指定できます。			
	SPEED_REW				
606	Take boundary mode	テイク境界で再生など	No	No	テイク境界を飛び越えて再生できます。
		を停止させるかを選択		Yes	テイク境界は飛び越えません。
	TAKE_BOUNDARY	できます。			境界で停止します



11.3.7 701~799 External Ports

MENU →SETUP→PARAMETER→EDIT→External Port (全てのパラメータ)

No	名前	詳細	初期値	値	動作
701	GPI OUT0	AUX コネクタ 8pin 出	HSYNC	Н	HI レベル(オープンコレクタ)固定
		力を選択出来ます。		LOW	LOW レベル(0.8V 以下)固定
	EXT_HSYNC_OUT			HSYNC	Hsync 出力
				PLAY_TALL	再生時HI出力
				Y	
702	GPI OUT1	AUX コネクタ 9pin 出	VSYNC	н	HI レベル(オープンコレクタ)固定
		力を選択出来ます。		LOW	LOW レベル(0.8V 以下)固定
	EXT_VSYNC_OUT			VSYNC	Vsync 出力
				REC_TALL	REC時HI出力
				Y	
				ERROR	(Reserved)
703	GPI OUT2	AUX コネクタ 10pin 出	FSYNC	Н	HI レベル(オープンコレクタ)固定
		力を選択出来ます。		LOW	LOW レベル(0.8V 以下)固定
	EXT_FSYNC_OUT			FSYNC	Fsync 出力
				IDLE	STOP時HI出力
715	Control by external	AUX コネクタ入力(5	DISABLE	DISABLE	AUX コネクタ入力による制御を行いま
	port	~7pin)入力による制			せん。
		御を有効にするかどう		ENABLE	AUX コネクタ入力による制御を行いま
	EXI_CONTROL				র
		FIRMWare Rev.1.2 以降			
716	External port rec		OFF	OFF	入力は無相之わます
110	control mode	カの挙動を選択出来ま	OIT		
	Control mode	व.			
	EXT_REC_CTRL				
				WODEZ	LOW->HIでREC停止します。
721	Rec start timing(H)	AUX コネクタ 7pin 収	1	数值	
		録開始Vsync数を選択		, (1~60)	
	EXT_RECSW_STAR	出来ます。		× ,	
	T_CNT				
722	Rec start timing(L)	AUX コネクタ 7pin 収	1	数値	
		録停止Vsync数を選択		(1~60)	
	EXT_RECSW_STOP	出来ます。			
	_CNT				
731	Ext port IN0 polarity	AUX コネクタ INO〜	NEGATIV	NEGATIVE	負極性
		IN2(5pin~7pin)の極性	E	POSITIVE	正極性
	EXT_IN0_POLARITY	を選択できます。			
732	Ext port IN1 polarity		NEGATIV	NEGATIVE	
			E	POSITIVE	上極性
	EXI_IN1_POLARITY				
733	Ext port IN2 polarity				
	EXT_IN2_POLARITY		C	PUSITIVE	



741	Ext port OUT0 polarity	AUX コネクタ OUT0	NEGATIV	NEGATIVE	負極性
		\sim OUT2(8pin \sim 10pin)	E	POSITIVE	正極性
	EXT_OUT0_POLARI	の極性を選択できま			
	TY	す。			
742	Ext port OUT1 polarity		NEGATIV	NEGATIVE	負極性
			E	POSITIVE	正極性
	EXT_OUT1_POLARI				
	TY				
743	Ext port OUT2 polarity		NEGATIV	NEGATIVE	負極性
			E	POSITIVE	正極性
	EXT_OUT2_POLARI				
	TY				



11.3.8 801~899 Others

MENU

→SETUP→PARAMETER→EDIT→Others (全てのパラメータ)

No	名前	詳細	初期値	値	動作
801	LCD back light	LCDパネルの輝度を	255	数値	0(暗い) <> 255(明るい)
	brightness	設定できます。		(0~255)	
					小さな値に設定すると画面がほとんど
	LCD_BRIGHTNESS				見えなくなります。ご注意下さい。
802	Warning threshold[%]	残り記録時間が少なく	3	数値	[分]単位
	for free space	なったときに MEDIA			
		LED を点灯させる閾			
	REMAIN_WARN_TH	値を設定することが出			
		来ます。			
804	Beep, when starting or	収録の開始と停止の	DISABLE	DISABLE	収録開始停止時に通知音を出しません。
	stopping the recording.	際、通知音を出すかど		ENABLE	収録開始停止時に通知音を出します。
		うかを設定します。			
	BEEP_IN_REC				
		現在未対心です。			
811	Cueup after recording	収録を行った後、自動	ENABLE	DISABLE	収録後は最後の収録フレームを表示し
	[reel only].	的に収録テイク先頭に			ます。
		キューアップするかと		ENABLE	収録後、収録したテイクの先頭に自動キ
	CUEUP_AFTER_RE	つかを設定できます。			ューアップします。
	С	これはリールセットア			
		ップ時のみ有効です。	055	055	
812	Rush-play mode	リールセットアッフさ	OFF	OFF	テイク単位で再生することが出来ます。
	ON/OFF	れたノオルタのテイク		ON	すべての収録済みテイクを通しで再生
		を通しで再生9ること			することか出来ます。
	RUSH_PLAY_MODE	かぐさる。			
813	Express TRIM on	フォルタの削除時に	ON	OFF	フォルタ削除時にTRIMコマンドを発行
	tolder delete	I KIM コマンドを使用			
		9 るかとつかを選択で		ON	フォルタ削除操作時にTRIMコマンドを
	IRIM_ON_FDELETE	さます。			使用し、書き込み性能を確保します。



11.3.9 1001 \sim Synchronise

MENU →SETUP→PARAMETER→EDIT→Maintenance (全てのパラメータ)

No	名前	詳細	初期値	値	動作
1001	Host LAN	現在未対応です。	ALL_ENA	DISABLE	
	REMOTE LAN		BLE	ENABLE	
				ALL_ENA	
				BLE	
1002	Local(panel)	現在未対応です。	ALL_ENA	DISABLE	
	LOCAL_ENABLE		BLE	ENABLE	
		ALL_ENA			
				BLE	
1003	LOCAL-LAN1	現在未対応です。	ENABLE	DISABLE	
	LOCAL_LAN1			ENABLE	



11.3.10 2001~UDR Maintenance parameter

MENU

→SETUP→PARAMETER→EDIT→Maintenance (全てのパラメータ)

No	名前	詳細	初期値	値	動作
2001	Cue up frame count	再生を開始する際の先	0	数値	0を指定するとデフォルト値を採用しま
		読みフレーム数を指定			す。
	CUEUP_CNT	出来ます。			
2002	Max disk request	メディアに対する最大	0	数値	0を指定するとデフォルト値を採用しま
	count	I/O リクエスト数を指			す。
		定できます。			
	MAX_DISK_REQ				
2003	Cache clear interval	停止時、先読みフレー	-1	数値	0を指定するとデフォルト値を採用しま
	[sec]	ムのキャッシュを破棄			す。
		する間隔を指定できま			
	CACHE_CLR_INTER	ਰ.			
	VAL				
2004	Max pre-read frame	先読みバッファとして	0	数值	0を指定するとテフォルト値を採用しま
	count	採用9るビナオノレー			9.
		ム叙を指定できま9。			
	WAX_PREREAD_CIN				
2005	I Play buffer percept[%]	一百生側で使用するつし	0		0を指定するとデフォルト値を採用しま
2005		中上向て使用するノレ	0		す
	PLAY BUE RATIO	指定出来ます。			90
2006		収録時、自動的に入力	ON	OFF	112録時 自動的に入力スルーレません。
	recordina.	をスルーするかどうか	ÖN		収録時 自動的に入力スルーレます
		を指定出来ます。			
	AUTO_EE				
2008	EDIT delay [frame]	コマンド発行から再生	7	数値	0を指定するとデフォルト値を採用しま
		/収録を開始するまで			す。
	EDIT_DELAY	のVsync数を指定でき			
		ます。			
2009	Thru mode	スルーモードを指定出	DEFAULT	Default	デフォルトのスルーモードです。
		来ます。		REC_ONL	REC 時のみ入力スルーします。
	THRU_MODE			Y	
				NOT_PLA	非再生時は入力スルーします。
				Y	
2019	Embedded audio	エンベデットオーディ	ENABLE	OFF	エンベデットオーディオ入出力を無効
	ON/OFF	オの入出力を無効有			にします。
		効できます。		ON	エンベデットオーディオ入出力を有効
	EMB_AUDIO_ENABL				にします。
	E				
2023	Ignore folder frame	フォルタ作成時に設定	OFF	OFF	フォルタ作成時に設定したフレームレ
	rate at play	したノレームレート設			- ト設定を無視しません。
		正を無視するかとうか		ON	フォルダ作成時に設定したフレームレ
	IGNORE_FRATE	を設定できます。			ート設定を無視します。



2024	Check frame valid at play	正常に記録されたフレ ームのみ再生するかど	CHECK	IGNORE	正常に記録されたかどうかの判定は無 視されます。
		うかを設定出来ます。		CHECK	正常に記録されたかどうかチェックし
	FRAME_VALID				ます。
2025	Select recorded take	記録するテイクのエン	TCG	TCG	TCGのユーザービットが記録されます。
	UB	トリ情報に登録するユ		REELTAK	テイク番号とユーザービットが記録さ
		ーザービット値を選択		E	れます。
	RECORD_TAKE_UB	出来ます。			
2026	ANC_LTC ON/OFF	HD-SDI に重畳されて	ON	OFF	LTCパケットの入出力を無効にします。
		いるアンシフリLIC		ON	LTCパケットの人出力を有効にします。
	ANC_LIC_ENADLE	ハノットの人面力を有			
		が出来ます。			
2027	ANC VITC ON/OFF	HD-SDI に重畳されて	ON	OFF	VITCパケットの入出力を無効にしま
		いるアンシラリ VITC			ਰ,
	ANC_VITC_ENABLE	パケットの入出力を有		ON	VITC パケットの入出力を有効にしま
		効/無効設定すること			す。
		が出来ます。			
2028	ANC_VANC ON/OFF	HD-SDI に重畳されて	ON	OFF	D-21 アンシラリデータの入出力を無効
		いるD-21 アンシラリ			にします。
	ANC_VANC_ENABL	データの入出力を有効		ON	D-21 アンシラリデータの入出力を有効
	E	/無効設定9ることか			にします。
2020		山木み9。 百生時 Linderflowが	0	秋店	0を指定すると報告しません。
2029	underflow	所定の数だけ発生した	0		
		とき、ALERTとして			
	ALERT_LV_PLAY	報告できます。			
		Underflow が発生する			
		と、同じフレームが連			
		続して見えます。			
2030	ALERT LEVEL: rec	収録時、Overflow が所	0	数値	0を指定すると報告しません。
	overflow	定の数だけ発生したと			
		き、ALERI とし(報			
	ALERI_LV_REC	日 Cedy。 Overflow が発生する			
		とスルー出力に一瞬黒			
		が出たりします。			
2031	TC output type	LTC コネクタからの	VTR	ALWAYS	常にLTC コネクタからタイムコードが
		タイムコード出力動作			出力されます。
	TC_OUTTYPE	を指定出来ます。		VTR	0.25 倍速以上の再生/収録の場合のみ
					LTC コネクタからタイムコードが出力
					chat.
2032	TC output mode	出力するタイムコード	AUTO	AUTO	メディアの出力時はメディアのタイム
		を選択することが出来			」ード、ノルー時はタイムコードジェネ
		द 9 。		TCC	レークの追り出力される9。
				166	されます。
				THRU	入力信号から再生成したタイムコード
					ジェネレータの値が出力されます。



2033	TC CTL	メディアのタイムコー ド出力時、タイムコー	CTL	AUTO	記録されたタイムコード値が出力され ます。
	TC_CTL	ド値として採用する値 を選択出来ます。		CTL	フォルダ先頭からのオフセットにより 計算された値が出力されます。
2034	Automatically sync to	検出した入力信号を元	OFF	OFF	自動設定機能を無効にします。
	input.	に、入力ビデオフォー マットを自動設定しま		ON	自動設定機能を有効にします。
	INPUT_AUTO_SYNC	す。 DualLink/2ch 時は正し			
		く動作しません。			
2035	GPI Test mode	GPIO のテストモード	OFF	OFF	GPIO のテストモードを解除します。
	ON/OFF	をON/OFF します。		ON	GPIO のテストモードに設定します。
	GPIO_TEST				
2036	Dual-link Progressive special control	Dual-Linkプログレッシブ 時の再生/記録時の境界制	OFF	OFF	タイムコード境界合わせをしません。1
	DLP_CTRL_ENABLE	御の切り替えです。タイ BLE ムコード境界に一致させ るかどうかを指定しま す。		ON	タイムコード境界合わせをします。2フ レーム単位で境界合わせをします。



11.4 ヒューズ交換について

製品の保護ヒューズは、リアパネルのACインレットに内蔵されています。

ヒューズを交換する場合、必ず本体から AC ケーブルを抜いて作業をしてください。

交換ヒューズ (ISO 7000-0434) ET 3.15A (SOC 製) 又は FSL 250V 3.15A (Nippon Seisen Cable, Ltd.製)



11.5 エラー番号一覧

Error Number	Error	Error Message	Error Number	Error	Error Message
-2	E_INVAL	Invalid argument.	700	E_NOFOLDER	No folder.
-3	E_NOTSUP	Not supported.	701	E_FOLDER	Folder Error.
-4	E_NODEV	No Device.	702	E_UNFITFOL	Unfit folder type.
-5	E_NOTFOUND	Command not found.	703	E_FOLNOTSUP	Folder type not supported.
-6	E_OPNOTSUP	Operation not supported.	704	E_FOLINVL	Invalid folder header.
-7	E_INVALSLOT	Invalid Folder slot.	705	E_VOLNOTSUP	Volume type not supported.
-8	E_DISABLE	Operation disabled.	706	E_NOVOL	No such volume.
-9	E_CONNECTFAIL	Couldn't communicate.	707	E_NOFOL	No such folder.
-10	E_LISTFULL	No space left on the list.	708	E_RONLYFOL	Folder is Read-only.
-11	E_NOENTRY	No such entry.	709	E_RONLYVOL	Video media is Read-only.
-12	E_IO	I/O error.	710	E_INVALNAME	Invalid name.
-13	E_WRITEFAIL	Write fail.	711	E_EXISTFOL	Folder exist.
-14	E_READFAIL	Read fail.	712	E_DIRFULL	Folder directory table full.
-15	E_NOLICENSE	No license.	713	E_VOLUME	Volume I/O error.
256	E_CHECKERR	Check error status.	714	E_FOLMAGIC	Invalid folder magic number.
512	E_CHECKRESP	Check response	715	E_FOLBUSY	Folder busy.
600	E_RECBUSY	REC busy.	716	E_DIFFPSIZE	Different page size.
601	E_PLAYBUSY	Play busy.	717	E_NONREALTIME	Non Realtime volume(disk).
602	E_INBUSY	Input busy.	718	E_NOSUBCH	No sub-channel.
603	E_RECINHIBIT	Rec inhibit folder.	719	E_SUBCHMODEORNG	Sub-channel mode out of range.
604	E_TAKEINVAL	Invalid take mode.	720	E_FNORNG	Frame number out of range.
605	E_TAKENO	Take number out of range.	721	E_FOLREAD	Reading folder failed.
606	E_TAKEFULL	Take list full.	722	E_FOLWRITE	Writing folder failed.
607	E_TAKEEOF	End of folder(take).	723	E_NOTCOINCIDE	Data-type not coincide.
608	E_TAKE	Take error.	724	E_NOTEMPLATE	No such folder-template.
609	E_TAKEWRT	Take write error.	725	E_TEMPLATE	Folder template error.
610	E_TAKEWP	Take write protected.	726	E_REQFULL	Request Que full.
611	E_EOF	End of folder.	727	E_SLOTBUSY	Slot Busy.
612	E_INPDFMT	Input data format error.	728	E_NOBLANKSLOT	No blank slot.
613	E_NOINP	No input.	729	E_ABORT	Abort.
614	E_REC	REC error.	730	E_ALPHABIT	Alpha-plane can use just 8/10/12bits.
615	E_VDTINVAL	I/O Invalid argument.	731	E_INVOLSTAT	Volume is not complete.
616	E_VDTBUSY	I/O busy.	732	E_NOMATCHSYS	Couldn't use on this system.
617	E_VDTNOTRDY	I/O not ready.	733	E_NOMATCH_MP	Couldn't use on this media pack.
618	E_VDTFOLBUSY	I/O Folder busy.	734	E_NOTSUP_SG	Not supported speed-grade.
619	E_VDTNOFOLDER	I/O No Folder.	735	E_FOL_ERASING	Folder is erasing.
620	E_VDTOPNOTSUP	I/O Operation not supported.	736	E_NOTEXEC	Not execute.
621	E_VDTIO	I/O error.	737	E_NOSPACE	No enough free space on the volume.
622	E_VDTLOAD	I/O file load error.	738	E_NOVFMT	No such video format.
623	E_VDTSAVE	I/O file save error.	739	E_FOLNO	Invalid folder number.
624	E_INP_SIG_ERR	Invalid input signal.	900	E_LOAD	Setup-file load error.
			901	E_NOTSYNC	Not synchronized.
			903	E_ACCESS	Communication error.



12 更新履歴

バージョン	日付	修正内容
1.0.0	2012/02/23	初版、暫定版。
1.1.1	2012/03/15	画面変更に伴う記述変更。
1.1.2	2012/07/05	UDR-N50 ファームウェア Ver. 2.1 更新による記述修正
1.1.3	2013/01/28	UDR-N50/N50A に名称変更
		「HDMI設定」を追記
1.1.4	2013/11/20	以下のドキュメントを統合
		「ピン仕様」追加
		「UDR-N50A タッチパネルの校正手順についてタッチパネルの校正手順に
		ついて」追加
		「同期運転(オプション)」追加
		「ルーフ再生」追加
		「スクリフト冉生」追加
1.2	2015/02/04	FW Rev.5.1 にあわせてパラメータを更新しました。
1.3	2015/02/18	SDI入出力に関する注意事項を追加しました。
1.4	2015/04/01	FW5.2.1 に合わせ、項4.4 及びキャリブレーション画面の説明を修正しまし
		た。
1.4.1	2015/04/13	§3.1, 3.2, 3.3の図表について、番号が見えにくい問題を修正しました。
		§5.2のHOME 画面図表について、番号が見えにくい問題を修正しました。
		§5.4のメニュー画面について、番号か見えにくい問題を修正しました。
1.4.2	2017/04/07	電源シンボル表記追加
		ヒュースに関9る記が近記
		注思事項で迫記 42項 再生専用メディアパック追記
15	2019/09/01	
1.5	2010/00/01	FW Rev 611 にあわせてパラメータを再新しました
151	2019/01/10	
16	2019/08/26	FW621に合わせてパラメータを再新しました
17	2020/07/22	
	2020/01/22	「MAINTENANCE ネットワーク画面」ネットワークの設定にデフォルトゲ
		ートウェイを追加
1.7.1	2020/10/09	VIDEO OUTPUT 画面
		「12G-SDI リンク割り当ての設定」を追加
		$301\sim399$ VideoOutput
		「12G-SDI Link assignment」を追加
		MEDIA REFRESH 完了画面と説明を修正
1.7.2	2021/07/28	VIDEO OUTPUT 画面
		「12G-SDI リンクモードの設定」を追加
		301~399 VideoOutput
		「12G-SDI Link Mode」を追加
1.73	2021/12/16	§4.3.2 再生のみ可能なメディアパックを削除
		24TB、48TB モデルを追加し、18TB モデルを削除
		§10.1 HDDメディアパックに対する振動や音圧の影響注意を削除
		メディアパックからビデオメディアに名称を変更

株式会社 計測技術研究所

ビジュアルウェア・カスタマ・サポート URL:https://www.keisoku.co.jp/vw/ E-mail:<u>VW-support@hq.keisoku.co.jp</u>



UDR-N50A/N60 オペレーションガイド